

## 地方鐵道法案外六件特別委員會議事速記錄第一號

付託議案(追加)

軌道條例中改正法律案

仙北輕便鐵道買收費支辨ノ爲公債發行ニ關スル  
法律案

大正八年三月二十一日(金曜日)午前十時九分開會

○委員長侯爵細川護立君ソレデハ始メマス此付託  
サレマシタ後ニ又一ツ參リマシタ、軌道條例中改正法律案  
ト仙北輕便鐵道買收費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件此  
仙北輕便鐵道ハ多少性質ガ違ヒマスカラ、今日ハ便宜上  
是カラ先キニ審議シタイト思ヒマス○政府委員(佐竹三吾君)仙北輕便鐵道ハ東北線ノ小  
牛田驛カラ始マリマシテ石卷ニ至リマスル十七哩四分ノ鐵  
道デアリマスルガ、軌間ガ二呎六吋デゴザイマシテ々小牛田  
羽横斷線ノ一部デアリマスルノト、石巻港ニ聯絡イタシマス  
ル水陸聯絡ノ幹線トモナルベキ鐵道デアリマスカラ、政府ニ  
乘替ヲシナケレバナラヌヤウナ不便ナ設備デアリマス、然ルニ  
同線ハ鐵道敷設法制定以來ノ豫定線ニナツ居リマシテ陸  
羽横斷線ニ於キマシテ積替ヘ積卸シノ不便ガアリマスシ、旅客ノ  
乗替ヲシナケレバナラヌヤウナ不便ナ設備デアリマス、然ルニ  
同線ハ鐵道敷設法制定以來ノ豫定線ニナツ居リマシテ陸  
羽横斷線ノ一部デアリマスルノト、石巻港ニ聯絡イタシマス  
ル水陸聯絡ノ幹線トモナルベキ鐵道デアリマスカラ、政府ニ  
於キマシテ之ヲ買收シテ國有トスルト云フ必要ヲ認メマシ  
テ、此度會社ト買收ノ協定ヲ致シマシタノデゴザイマス、此  
協定ノ結果茲ニ提出ニナリマシタ如ク五分利付ノ國庫證  
券百六萬餘圓ヲ交付スル必要ガアルノデアリマスカラ、此  
法律案ヲ提出シタ次第デアリマス○小松謙次郎君唯今御説明中ニ、鐵道敷設法ノ豫定  
線路中ニ此線路ガ當ツ居ルト云フコトデアリマシタガ、豫  
定線ニ當ツテ居ルヤウナモノト輕便鐵道ニ許サレル場合ニ  
於テハ、何カ命令書ニサウ云フヤウナ事項ガ、買收其他ニ關  
スル規定デモ載セテ御置キニナリマシタノデアリマスカ  
○政府委員(佐竹三吾君)一體政府ニ於キマシテハ買收  
ノ必要ヲ認メマシタトキニハ、イツデモ買收ノ出來ルコトヲ  
命令書ノ中ニ規定シテアリマス○政府委員(佐竹三吾君)命令書ニ定メテアリマスル買  
收價額ハ、買收當時ヨリ遡リマシテ最近六營業年度ニ於  
ケル平均ノ利益ヲ買收當時ノ建築費ニ乘ジマシテ、之ヲ二  
十五倍イタシマシタ價額ヲ買收價額ト認メタノデゴザイマ  
カ、ソレトモ鐵道ヲ國有ニサレタトキノ振合ニデモ準據サレ  
タノデアリマスカ

ス、其價額ニ對シテ四分利付ノ國庫證券ヲ交付スルコトニ  
ナツテ居ルノデアリマス、ソレニ依リマスルト同會社ノ買收  
價額ハ百七十七万二千七百三十二圓五十五錢ト云フコ  
トニナルノデアリマス、是ダケノ公債ヲ交付シテ差支ナイコト  
ニナツテ居ルノデアリマスガ、先程申述ベマシタ如ク此鐵道ハ  
二呎六吋ノ軌間デゴザイマシテ、政府ニ於キマシテ買收ヲ  
致ス必要上、之ヲ三呎六吋ニ擴築スルコトニナルノデアリ  
マスガ、其改良費ガ百万圓ノ豫定デアリマシテ、之ヲ今年度  
ノ豫算ニ計上イタシテ居ルノデアリマス、從シテ此命令書ノ  
通りニ買收イタシマスルトキニハ斯ノ如キ多大ノ改良費ヲ  
加ヘズシテ其儘之ヲ利用スルコトノ出來ルト云フ、サウ云フ  
場合ニ適用スペキモノナシカト考ヘマシテ、ソレデ當局ニ  
於キマシテ此際決定イタシマシタ價額ハ買收價額ニ改良  
費ヲ加ヘマシテ、政府ノ經營ニ移シタ後ニ相當ノ收益ノア  
ル程度ニ計算イタシタノデアリマスガ、其運輸數量ヲ會社ノ  
實測及鹽釜線トカ八戸線トカ或ハ新庄酒田線アルトカ  
其鐵道ノ運輸數量ヲ比較イタシマシテ、サウシテ凡ソ四分  
八厘五毛ノ收益ニナリマスルコトニ此額ヲ決メタノデアリ  
マス、會社ノ方カラ申上げマスルト、此會社ノ資本金ハ百万  
圓デアリマシテ、實際ノ拂込ガ四十四万圓デアリマス、即チ  
一株五十圓ノ株式ニ對シテ二十二圓ノ拂込ガアル、會社  
ノ建設費ハ最近ニ於キマシテ五十三万七千二百七十三圓  
八錢六厘ト云フモニナツテ居リマス、ソレデ拂込金四十四万  
圓デ建設費ガ五十三万七千圓デアリマスカラ、其差額ダケ  
ハ從來會社ノ得マシタ益金ニ依リテ線路ニ改良ヲ加ヘタ次  
第ニナツダモノデアリマス、サウシテ此會社ノ利益ノ割合が過  
去六年後ノ平均ニ於キマシテ、一割三分一厘九毛八絲ニ  
ナツテ居リマスカラ、實際ノ株式ノ價格モ四十五六圓イタシ  
テ居リマス、サウ云フ次第デアリマスカラ、命令書ノ如ク買  
收價格ニ依リマシテモ、會社ニ於キマシテ大シタ損ハ無カ  
ノ必要ヲ認メマシタトキニハ、イツデモ買收ノ出來ルコトヲ  
命令書ノ中ニ規定シテアリマス

○小松謙次郎君サウ云フ事例ハ他ニモ残ツテ居リマスカラ、  
又買收價額ハ命令書デ豫定シテ居ル買收價額デアリマス  
カ、ソレトモ鐵道ヲ國有ニサレタトキノ振合ニデモ準據サレ  
タノデアリマスカ

○政府委員(佐竹三吾君)命令書ニ定メテアリマスル買  
收價額ハ、買收當時ヨリ遡リマシテ最近六營業年度ニ於  
ケル平均ノ利益ヲ買收當時ノ建築費ニ乘ジマシテ、之ヲ二  
十五倍イタシマシタ價額ヲ買收價額ト認メタノデゴザイマ  
カ、ソレトモ鐵道ヲ國有ニサレタトキノ振合ニデモ準據サレ  
タノデアリマスカ

○政府委員(佐竹三吾君)命令書ニ定メテアリマスル買  
收價額ハ、買收當時ヨリ遡リマシテ最近六營業年度ニ於  
ケル平均ノ利益ヲ買收當時ノ建築費ニ乘ジマシテ、之ヲ二  
十五倍イタシマシタ價額ヲ買收價額ト認メタノデゴザイマ  
カ、ソレトモ鐵道ヲ國有ニサレタトキノ振合ニデモ準據サレ  
タノデアリマスカ

○政府委員(佐竹三吾君)此外ニモ尙ホ豫定ノ一部ニ  
該當シテ居リマス線ハ、下關カラ萩へ出マス間ニ長州鐵道  
ト云フノガアリマス、是ハ未だ鐵道院ノ方モ進行イタシテ居  
リマセヌ、進行イタシマシタ場合ニ之ヲ買收スル必要ガアル  
ト思ツテ居リマス、ソレカラ四國、西條松山間ヲ私設輕便鐵

道ヲ免許ニナツテ居リマスケレドモ、會社モ未ダ工事ヲ致シ  
テ居リマセヌ、即チ豫定線ニ對シテ免許イタシマシタ區間ノ

一例トシテ今申上ダマシタ西條松山デ豫定鐵道ト云ツテ居

リマス、ソレカラ甲府ト岩淵ヲ結付ケルノガ豫定線デアリマ  
スルガ、此區間ニ對シマシテ、富士カラ甲府ニ行キマス間ニ  
二呎六吋ノ軌間デゴザイマシテ、政府ニ於キマシテ買收ヲ  
致ス必要上、之ヲ三呎六吋ニ擴築スルコトニナルノデアリ  
マスガ、其改良費ガ百万圓ノ豫定デアリマシテ、之ヲ今年度  
ノ豫算ニ計上イタシテ居ルノデアリマス、從シテ此命令書ノ  
通りニ買收イタシマスルトキニハ斯ノ如キ多大ノ改良費ヲ  
加ヘズシテ其儘之ヲ利用スルコトノ出來ルト云フ、サウ云フ  
場合ニ適用スペキモノナシカト考ヘマシテ、ソレデ當局ニ  
於キマシテ此際決定イタシマシタ價額ハ買收價額ニ改良  
費ヲ加ヘマシテ、政府ノ經營ニ移シタ後ニ相當ノ收益ノア  
ル程度ニ計算イタシタノデアリマスガ、其運輸數量ヲ會社ノ  
實測及鹽釜線トカ八戸線トカ或ハ新庄酒田線アルトカ  
其鐵道ノ運輸數量ヲ比較イタシマシテ、サウシテ凡ソ四分  
八厘五毛ノ收益ニナリマスルコトニ此額ヲ決メタノデアリ  
マス、會社ノ方カラ申上げマスルト、此會社ノ資本金ハ百万  
圓デアリマシテ、實際ノ拂込ガ四十四万圓デアリマス、即チ  
一株五十圓ノ株式ニ對シテ二十二圓ノ拂込ガアル、會社  
ノ建設費ハ最近ニ於キマシテ五十三万七千二百七十三圓  
八錢六厘ト云フモニナツテ居リマス、ソレデ拂込金四十四万  
圓デ建設費ガ五十三万七千圓デアリマスカラ、其差額ダケ  
ハ從來會社ノ得マシタ益金ニ依リテ線路ニ改良ヲ加ヘタ次  
第ニナツダモノデアリマス、サウシテ此會社ノ利益ノ割合が過  
去六年後ノ平均ニ於キマシテ、一割三分一厘九毛八絲ニ  
ナツテ居リマスカラ、實際ノ株式ノ價格モ四十五六圓イタシ  
テ居リマス、サウ云フ次第デアリマスカラ、命令書ノ如ク買  
收價格ニ依リマシテモ、會社ニ於キマシテ大シタ損ハ無カ  
ノ必要ヲ認メマシタトキニハ、イツデモ買收ノ出來ルコトヲ  
命令書ノ中ニ規定シテアリマス

○男爵福原俊丸君唯今命令書ニ買收ノ標準ハ四分利公  
債デヤルト云フヤウナ話ガチヨトアタヤウニ思ヒマスガ、左  
様デスカ

○政府委員(佐竹三吾君)左様デアリマス

○小松謙次郎君之ヲ五分利ニ引直スト、百七十七万圓  
ト云フモソハ凡ソドノ位ニナリマスカ、詰リ五分ノ四ト見レ  
バ宜イデスカ、後トモモニ

○政府委員(佐竹三吾君)左様デアリマス

○小松謙次郎君之ヲ五分利ニ引直スト、百七十七万圓  
ト云フモソハ凡ソドノ位ニナリマスカ、詰リ五分ノ四ト見レ  
バ宜イデスカ

○男爵福原俊丸君先程御説明ノ中ニ此鐵道ハ全部  
改良シテ居リマス、是ハ未だ鐵道院ノ方モ進行イタシテ居  
リマセヌ、進行イタシマシタ場合ニ之ヲ買收スル必要ガアル  
テ「レール」ナリ其他ソレニ關聯シタ設備ナリヲ全部改良セ  
ラレル譯デアリマスカ、ソレカラシテ此鐵道ヲ買收シテ、ソレ



ラヌノデアリマス、之ガ爲ニ會社ノ利益ガ減リマシテモ已ム  
ヲ得ナイコトデハナイカト思フノデアリマス、元々並行線ニ  
依テ影響ヲ受ケマスル場合ニ付テハ、現行法ハ何等ノ救  
濟ノ途ハナカツダノデアリマスガ、從來ニ於キマシテ甚シク不  
當ト認メラレル結果ガ起ツダノデアリマスカラ、ソレデ此規定  
ヲ入レタノデアリマスサウ云フ次第デアリマスカラ政府ニ於キ  
マシテ之ヲ適用スル時ニハ最モ周密ナル調査ヲ致ス考ヘデ  
居リマスカラ、實際ノ結果ニ於キマシテハ非常ニ不公平ナ  
結果ハ起ラヌヤウニ致シテ置キタイト思ウテ居ルノデアリマ

○河村謙三郎君　司法省ノ政府委員が御出席テアリマス  
カズ、問ニ質問ヲ致シタ一、失禮デゴザイマスカラ御先キニ  
頤ヒマス、私ハ地方鐵道法案ノ第八條、第十條、第十六  
條、此三ヶ條ニ牽聯イタシマシテ質問イタシマス、最初ニ此  
第十條ノ説明書ノ中ニ「會社合併ノ結果私法上ノ權利義  
務ハ商法上ノ規定ニ依リ承繼スルモ公法上ノ權利義務ノ  
承繼ニ付キテハ特別ノ法條ヲ要ス是レ第二項ノ存スル所  
以ナリ」トアリマス、會社ノ免許ニ關スル權利義務、公法上  
ノ權利義務ト云フコトハ明カニ御認メニナシテ居ルヤウニ解  
釋イタシマスノデアリマス、此箇條ニ牽聯スルノデアリマスガ、  
果シテ今日ノ程度ニ於キマシテ免許ト云フモノガ、公法上  
ノ權利義務デアルト云フコトハ適當ノ解釋デアリマスカ否  
ヤ、鐵道營業ハ行政事務ノ一部デアルト云フコトヲ認メマ  
スレバ則チ政府ノ行政行爲デアリマス、ソレヲ個人ニヤラセ  
ル、所謂「コンセッション」ナルモノヲ政府ノ行政事務ノ一部  
トシテヤラレルト云フコトカラ見マスレバ、鐵道營業ハ公法  
上ノ權利義務デアルト云フコトモ其結果認メナケレバナラ  
ヌヤウニ思ヒマスガ、今日ノ程度ニ於キマシテ鐵道營業ハ果  
シテ行政事務ノ一部一認メラレルノデアリマスカ、否ヤ、ソレ  
ハ何カ公權私權デアルト云フモノヲ認メラレル理由ガアルノ  
デアリマスカ、先以テ其點ヲ御質問イタシマス

○政府委員（佐竹三吾君）　是ハ施行法ニ關スルコトデア  
リマスカラ、施行法ヲ起草イタシマシタ私ノ方デ御答イタシ  
タイト思テ居リマス、前回ノ御質問ノ際ニ御答ヲシマシタ  
コトデアリマスガ、免許ニ關スル權利義務ト申シマスルモノ  
ハ、其性質ガ公法ノ規定ニ據ルベキモノデアルカ、私法ノ規  
定ニ據ルベキモノデアルカト云フコトハ、學者ノ間ニ色ニ御  
議論ノアルヤウニ承テ居リマスガ、私ノ考デハ矢張リ一種  
ノ財產權デアッテ、讓渡ヲスルコトモ出來ル、相續ノ目的ト  
モナル、斯ツニ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、併ナガラ此點

ニ依テ他ノ権利ト共ニ承繼スルモノト認メルノデアルト云  
フヤウナ規定ヲ設ケタ次第ニアリマス、唯今御引用ニナリマ  
シタ十條ノ説明ハ其點ガ少シ明瞭シ過ギルノデアリマスカ  
ラ、實ハサウ云フコトヲハッキリ書キマスト、却テ唯今ノ御質  
問ノ如キコトガ起ルト思ヒマスカラ、是ハ改メル積リデアリマ  
ス、趣旨ニ於キマシテハ矢張リ普通ノ財産權ト同ジヤウニ  
取扱ニ差支ナイヤウニ考ヘテ居リマス、ソレカラ鐵道營業  
ハ公法ニ屬モノカト云フ御尋デアリマスガ、鐵道營業其  
者ハ申上ダムスルマデモナク、私法上ノ問題トシテ民法商  
法ノ適用ヲ受ケル事業ト考ヘテ居リマスガ、唯營業ヲ致シ  
マス上ニ付テ、公法ノ免許ト云フ制限ヲ必要トスルト云フ  
コトニ承知イタシテ居ルノデアリマス

○河村譲三郎君　了解イタシマシテザイマスガ、ソレアハ  
矢張リ私法上ノ権利義務デアルガ、其事件ニ付テハ制限ヲ  
受ケテ居ル、制限ヲセラレテ居ル財產權デアルト、斯ウ解釋  
イタシテ宜カラウト、私ハ考ヘマスノデアリマス、ソレデアリマ  
スカラ此十條第二項ト云フモノハ、此特別ノ規定ガアリマ  
セヌト云フト、法律ノ規定ニ依ラズ、又免許モ受ケナイデ、  
當然新會社ガ讓受ケルト云フコトニナルト、其際不都合ヲ  
生ジマスルカラ、合併ノ時ニハ新會社ガ権利義務ヲ繼承ス  
ルモノト解釋スルノデアリマス、ソレデ此規定ノ趣旨ハ私ハ  
了解ヲ致シマシタ、續イテ第八條ニ付テ伺ヒマスガ、第八條  
ノ第二項ニ依リマスト云フト、附屬物件ノ貸渡讓渡ハ制限  
附デサセル、即チ監督官廳ノ免許ヲ受ケルト云フノデ、貸渡  
讓渡ガ出来ルト云フコトガ書イテアリマスガ、其鐵道其者ノ  
貸渡讓渡ト云フモノハ如何ニナリマスカ、私ガソレヲ伺ヒマ  
スノハ、鐵道ト云フモノ、意義ヲ明カニ了解シマセヌカラ、斯  
ウ云フ要領ヲ得ナイ御尋ラスルノカモ知レマセヌガ、私共素人  
ガ考ヘマスト、鐵道ト云フノハ、要スルニ土地ノ上ニ線路ヲ  
敷イタノガ鐵道デナイカト思ヒマスガ、果シテサウ云フモノデ  
アルト云フト其鐵道ノ一部ヲ貸渡スルト云フモノト想像セ  
ラレナイコトデモナインデアリマスガ、斯ウ云フ場合ハドウ云  
フノデアリマスカト云フコトヲ伺ヒマス

○政府委員(佐竹三吾君)　鐵道自體ノ貸渡讓渡ニ付キ  
マシテハ、矢張リ監督官廳ノ許可ヲ要スルノデアリマス、ソ  
レハ貸渡ニ付キマシテハ第二十六條ニ規定イタシテアリマ  
ス、讓渡ニ付キマシテハ第十八條ニ規定イタシテアリマス、ソ  
レカラ尙ほ鐵道ト云フモノ、鐵道ノ附屬物件トノ區別ノ  
御尋ノヤウニ承リマシタガ、鐵道ト申シマスノハ、一體ヲ成  
シタモノヲ認メテ居ルノデアリマシテ、單ニ車輛デアルトカ、  
「レール」デアルトカ云フダケデ、勿論鐵道デハナイノデアリマ  
ス、鐵道ノ附屬物件ト云ヒマスノハ、極メテ明瞭テナイ言葉  
デアリマスガ、鐵道抵當法ニ於キマシテモ、第三條ニ鐵道財

産ノ内容ヲ規定イタシテ居リマスガ、此中ニハ矢張リ鐵道自體ニ舍マレルモノト、ソレカラシテ鐵道ニ屬スルモノト云フモノトノ區別モ明瞭デハアリマセヌガ、矢張リ這入ッテ居ル積リデアリマス、鐵道ニ附屬スル物件ニ付テ一例ヲ申シマスレバ、停車場ノ電話、業務上ノ電話、即チ信號所ト話ヲスルトカ、或ハ隣ノ驛ト話ヲスルト云フヤウナモノハ、是ハ鐵道ノ一部ヲナスベキモノデアラウト思フノデアリマス、併ナガラ其所ニアリマス公衆電話ト云フヤウナモノハ、是ハ鐵道ノ附屬物件デハアリマスケレドモ、鐵道ノ一部ト認メルコトハ出来ナイモノデナイカト思フノデアリマス、要シマスルニ、附屬物件ノ意義ハ極メテ明瞭ヲ缺クノデアリマスカラ、第八條ノ二項ハドウ云フ物ヲ貸渡或ハ譲渡スルニ付テハ、監督官廳ノ認可ヲ受ケナケレバナラヌト云フ物件ノ範圍ト、ソレカラ受ケル方法トヨ規定期間スル考デアリマス、此文字ノ書キ方カラ申シマスト、命令ノ定ムル所ニ依ルト云ウテアリマスカラ、物件ノ範圍ヲ命令デ極メルト云フコトハ、或ハ不穩當カモ知レマセヌガ、立法ノ趣旨ハサウニ云フコトニナルノデアリマス○河村讓三郎君 唯今ノ御説明ニ依リマスト、鐵道ト云フノハ組織的ニ一體ヲ成シタモノデアル、之ヲ分離シテ見レバ其中ノ一部ガ附屬物ト云フコトニナル、ソレヲ命令デ定メルト云フ説明ノヤウデアリマス、一應了解ヲ致シテ居リマスガ、其一體ヲ成シテ居ル鐵道デスナ、一體ヲ成シテ居ル鐵道ト云フモノデス、此十八條ニ規定セラレマスル所ノ「免許ニ屬スル權利義務」ト云フモノガ同一デアルト云フ、此十八條ニ「免許ニ屬スル權利義務」ヲ他人ニ譲渡スルコトヲ得「下アルノハ、即チ鐵道ノ一體ヲ成シテ居ル所ノ鐵道ヲ譲渡スル所ノ意味デアル、ト云フ御答辯ニナルノデスガ、其點ハマダ少シ私ノ了解シ兼ネル點デアルノデアリマスガ、此免許權即チ免許ニナシテ得タル權利義務ト云フモノハデス、即チ此鐵道營業ヲ爲ス所ノ權利義務ト云フモノノヤウニ私共ハ解スル、ソレト鐵道：此物質的ノ鐵道ト云フ線路其他ノ附屬物ヲ合シタ一體ヲ爲シテ居ルモノト同一デアルト云フ解釋ガ、少シクマダ了解ヲシ兼ネル點デアリマス、此貸渡ノ方ハ此第二十六條ニ依リマスト云フ「監督官廳ノ許可ヲ受クルニ非サレハ、鐵道ノ貸借又ハ營業若ハ運轉ノ管理ノ委託若ハ受託ヲ爲スコトヲ得ス」、是デ能ク分リマスケレドモ、鐵道ノ譲渡ト云フモノガ十八條ニ依テ制限サレタノデアルト云フ御説明デハ、チヨット一應了解シ兼ネマス、其點ハドウ云フコトニナルノデアリマスカ○政府委員（佐竹三吾君） 十八條ハ「免許ニ屬スル權利義務」ト云フコトデアリマス、其權利ノ目的トシテハ主體物即チ線路デアルトカ、車輛デアルトカ云フコトヲ含ンデ居ルヌヤウニ見エルノデアリマスガ、是ハ言ヒ現ハシ方ヲ換ヘマシ

タダケテアリマシテ、鐵道抵當法ニ於キマシテモデス、其第二條ニ「鐵道ノ全部又ハ一部ニ付鐵道財團ヲ設クルコトヲ得」此「鐵道」ト云フ意味ハ財產權ノ目的トナル主體物或ハ權利ノ如キモノヲ有シテナインデアリマスルコトハ第三條ニ列舉シテアリマシテ、而カモ其第三條ニ「鐵道ノ免許ニ屬スル」、鐵道ト云フモノトガ全然分離シテ存在シ得ルモノデアルト云フコトデアリマスレバ、鐵道抵當法ニ依ツテ第三條ガ財產ノ範圍ヲ鐵道ノ全部ニ付キ決メマシタトキニ、免許ニ屬スル權利義務ヲ合セテ之ヲ入レナケレバ「不完全ナル規定ノヤウニ考ヘル」ノアリマス、「鐵道財團ガ抵當權ノ目的デアルト云フ場合ニハ、第十八條ニアリマス」「免許ニ屬スル權利義務」ニモ合セテ之ヲ包含スルモノデアリテ、一方ハ權利ノ立前カラ見、他方ハ其權利ノ客體デアル物件カラ見テ居ルトスウ云フ風ニ解釋イタシテ居ルノデアリマス。

○河村讓三郎君 現行法ノ規定ヲ御引用デアリマスルカラソレニ付テ伺ヒマスガ、現行ノ輕便鐵道法ノ第十三條ニハ「鐵道ヲ讓渡セントスルトキハ許可ヲ受クヘシ」ト「鐵道」ト云フ字ガ書イテアル、免許權ト云フ字句デナイト、是ハ今度ノ十八條デハ「免許ニ屬スル權利義務」ト云フ字ニ變テ居ルノデスガ、同一ノモノデアルト云フコトハ解釋ガ少し困難デアリマス、ソレカラ「鐵道抵當法」アリマスガ、鐵道抵當法ハ鐵道財團ノ中ニ果シテ此免許權ヲ包含シテ居ルノデアルカラウカ、是ハ確カニ包含シテ居ルモノト御認メニナシテ居ルノデアリマスカ、若シソレナラバ競買人、競買人が此營業ヲ定ムルニ適當ノモノデナイト云フトキニ、ソレヲ何カ制限スル規定ガアリマスカ、糶買人ナルモノ、資格ナリ制限ナリガ有ルノデスカ無イノデスカ、記憶シマセヌカラ「鐵道抵當法」ヲ御弔シヨ願ヒタヒ、サモナイト第三條ニ免許權ト云フモノガナイノハ、鐵道抵當物ニナラヌト云フコトノ條項トナルノデスガ……

○政府委員（佐竹三吾君） 唯今ノ御質問ノ競落人ノ資格ニ付テハ現在ノ鐵道抵當法ニ制限ヲ致シテ居リマスガ、其制限ハ私設鐵道法ノ規定カラ生ジタ制限デアリマス

○河村讓三郎君 何條デスカ

○政府委員（佐竹三吾君） 抵當法ノ第五十條ニアリマスルガ、更ニ第七十六條ニ「主務官聽ハ前三條ノ規定ニ依ル申請アリタルトキハ本免許狀ヲ下付スヘシ」ト云フコトガアリマシテ、競落ニ依リ鐵道財團ノ權利ヲ收得イタシマシタモノガ、更ニ七十三條以下ノ規定ニ依リマシテ本免許狀ノ申請ヲ致スノデアリマス、其申請ガアリマシタキハ七十六條ニ依リ本免許狀ヲ下付スルコトニナシテ居ルノデス、是ハ

鐵道抵當法ノ修正ノトキニ申上ゲタイト思シテ居リマスガ、其免許ト云フコトハ實ハ如何ナモノカト思ヒマスルノデアリテ、恰モ隨意契約ニ依リ鐵道ヲ讓渡シマシタトキニ、地利ノ如キモノヲ有シテナインデアリマスルコトハ第三條ニ列舉シテアリマシテ、而カモ其第三條ニ「鐵道ノ免許ニ屬スル」、鐵道ト云フモノトガ全然分離シテ存在シ得ルモノデアルト云フコトデアリマス、ソレデアリマス、其免許ニ屬スル權利義務ト云フモノハ這入シテ居ラヌノデアリマス、ソレデアリマスルカラ若シ御話ノ如ク免許ニ屬スル權利義務ト云フモノト、鐵道ト云フモノトガ全然分離シテ存在シ得ルモノデアルト云フコトデアリマス、其免許ニ屬スル權利義務ヲ合セテ之ヲ入レナケレバ「不完全ナル規定ノヤウニ考ヘル」ノアリマス、「鐵道財團ガ抵當權ノ目的デアルト云フ場合ニハ、第十八條ニアリマス」「免許ニ屬スル權利義務」ニモ合セテ之ヲ包含スルモノデアリテ、一方ハ權利ノ立前カラ見、他方ハ其權利ノ客體デアル物件カラ見テ居ルトスウ云フ風ニ解釋イタシテ居ルノデアリマス。

○河村讓三郎君 御引用デアリマスルカラ現行法ノ規定ヲ御引用デアリマスルカラソレニ付テ伺ヒマスガ、現行ノ輕便鐵道法ノ第十三條ニハ「鐵道ヲ讓渡セントスルトキハ許可ヲ受クヘシ」ト「鐵道」ト云フ字ガ書イテアル、免許權ト云フ字句デナイト、是ハ今度ノ十八條デハ「免許ニ屬スル權利義務」ト云フ字ニ變テ居ルノデスガ、同一ノモノデアルト云フコトハ解釋ガ少し困難デアリマス、ソレカラ「鐵道抵當法」アリマスガ、鐵道抵當法ハ鐵道財團ノ中ニ果シテ此免許權ヲ包含シテ居ルノデアルカラウカ、是ハ確カニ包含シテ居ルモノト御認メニナシテ居ルノデアリマスカ、若シソレナラバ競買人、競買人が此營業ヲ定ムルニ適當ノモノデナイト云フトキニ、ソレヲ何カ制限スル規定ガアリマスカ、糶買人ナルモノ、資格ナリ制限ナリガ有ルノデスカ無イノデスカ、記憶シマセヌカラ「鐵道抵當法」ヲ御弔シヨ願ヒタヒ、サモナイト第三條ニ免許權ト云フモノガナイノハ、鐵道抵當物ニナラヌト云フコトノ條項トナルノデスガ……

○政府委員（佐竹三吾君） 唯今ノ御質問ノ競落人ノ資格ニ付テハ現在ノ鐵道抵當法ニ制限ヲ致シテ居リマスガ、其制限ハ私設鐵道法ノ規定カラ生ジタ制限デアリマス

○河村讓三郎君 何條デスカ

○政府委員（佐竹三吾君） 抵當法ノ第五十條ニアリマスルガ、更ニ第七十六條ニ「主務官聽ハ前三條ノ規定ニ依ル申請アリタルトキハ本免許狀ヲ下付スヘシ」ト云フコトガアリマシテ、競落ニ依リ鐵道財團ノ權利ヲ收得イタシマシタモノガ、更ニ七十三條以下ノ規定ニ依リマシテ本免許狀ノ申請ヲ致スノデアリマス、其申請ガアリマシタキハ七十六條ニ依リ本免許狀ヲ下付スルコトニナシテ居ルノデス、是ハ

○河村讓三郎君 権利ノ主體ガ死亡シテソレヲ承繼スル者ガ無イ場合ニ、國庫ニ屬スルカト云フノガ我國ノ例デアリマス、此場合ニ限シテ無主物ニナシテ了フト云フ例ヲ認メマ

競落人ガ競買ノ結果鐵道ヲ讓受ケマシタトキニ、更ニ許可ヲ受ケシムル、斯ウ云フコトニ坂ウテ居ルノデアリテ、恰モ勝手ニ之ヲ繼承スルコトハ出來ナイ、許可ニ依ツテ承繼スルノデアル、從ツテ鐵道抵當法ノ規定ニ依ツテ競落人トナシマシタ場合ニハテモ矢張リ許可ヲ要スル、斯ウ云フコトニ致シタノデアリマスルカラ、十八條ノ規定ト權衡ヲ得テ居ルヤウニ思フノデス、ソレデ十八條ニ「鐵道ノ讓渡ト云フコトヲ書キマシタノト其法律上ノ效果ニ於テハ何等相違ナイト考ヘテ居リマス

○河村讓三郎君 御説明デアリマスルカラ私ハ益、マゴツクドウモ唯今ノ御説明ヲ拜承シマスルト鐵道抵當法ニ依ツテ鐵道ヲ競買スル場合ニハ、免許權ト云フモノハ此本當ノ目的ニハナシテ居ラナイノデアルカラ更ニ免許ヲ受ケナケレバナラヌト云フ意味フ、今度ノ改正ニ依ツテ「層明カニセラレタモノデハナイカ、先刻御弔シニナリマシタ」現行法ノ五十條之ヲ見マスト鐵道營業ヲスル者デナケレバ競買ニ加入スルコトハ出來ヌ、是ダケ見マスト云フト或ハ競買ノ目的ニハシタ意味デアリマス

○河村讓三郎君 許可ヲ必要トシナイト云フ法律ハアリマスガ、承繼ヲシナイト云フコトモ意味サレマスカ

○政府委員（佐竹三吾君） 承繼ヲ致シマセヌトキニ、營業ヲ廢止スルコトニナルノデアリマス承繼ヲシナイトコトハ勿論相續人ノ隨意デアリマス

○河村讓三郎君 チヨットソレガ未ダ正確デアリマセヌガ、營業權ト云フモノガ競買ノ目的ニナシテスラ、其資格ガナケレバ加入出來ナイト云フ規定ノヤウニ思ヒマス、ケレドモ今度ノ改正ニナ此五十條ヲ削除サレマシテ、而シテ此七十三條ガデス、現行法デハ何カ本免許ヲ申請スベシアルカラ、前ニハ假ニ免許サレルヤウニ見エマスルカラ、今度ハ新シクスル、其時ニ初メテ營業權ト云フモノヲ下付サレルヤウニ思ヒマス、今度ノ改正ハ益、許可權ト云フモノヲ「鐵道抵當法ニ依リ競買ノ目的ノ第一ニアルト云フコトヲ明カニシタ、斯ウ云フヤウニ私ハ思ヒマス、唯今ノ御説明ハ甚ダ了解シ兼ネルベキ點デ、是ハ私ノ意見デアリマスルカラ……御説明ハ唯今ノヤウニ承ハクタノデアリマス、サウ致シマスト矢張リ夫ニ牽連シタ問題ガ起リマスノハ十九條デアリマス、十九條ヲ讀ミマスト鐵道及許可權ト云フモノハ相續ノ目的ニナルト云フコトヲ認メルノカ、ナラヌト云フコトヲ認メルノカト云フ疑問ヲ起シマス、ソレヲ伺ヒマスガ、先づ其前ニ此營業者ノ死亡シタ場合、死亡ニ依テ相續ヲナシタ場合ニ付テ、特ニ第二項ノ規定ヲ設ケラレテ、免許シマシタ、相續人ガ免許ニ豫メ營業廢止ノ許可ヲ受ケナケレバ解散ノ決議ハ法律上ニ於テ效力ヲ有シナシコトガアリマス、相續ノ時モ死亡ニ付テ豫メ許可ヲ受ケルトカ、或ハ相續ヲシナイト云フコトヲ許可ヲ受ケサセルト云フコトニスレバ、解散ノ決議ト權衡ハ取レルノデアリマスケレドモ、全く事情ガ異ナルト認メマスカえ、相續ノ場合ニサウ云フ規定ハ設ケナカクタノデアリマス

○河村讓三郎君 権利ノ主體ガ死亡シテソレヲ承繼スル者ガ無イ場合ニ、國庫ニ屬スルカト云フノガ我國ノ例デアリマス、此場合ニ限シテ無主物ニナシテ了フト云フ例ヲ認メマ

○政府委員（佐竹三吾君） 左様デゴザイマス、ソレデ從來會社ガ解散ヲシテ、ソレガ爲ニ免許ガ當然消滅シテ營業廢止ト云フ結果ヲ生ジタノデアリマスガ、會社ノ解散ハ自然人ニ付キマシテハ死亡ニ相當スルノデアリマシテ、解散ノ時ニ豫メ營業廢止ノ許可ヲ受ケナケレバ解散ノ決議ハ法律上ニ於テ效力ヲ有シナシコトガアリマス、相續ノ時モ死亡ニ付テ豫メ許可ヲ受ケルトカ、或ハ相續ヲシナイト云フコトヲ許可ヲ受ケサセルト云フコトニスレバ、解散ノ決議ト權衡ハ取レルノデアリマスケレドモ、全く事情ガ異ナルト認メマスカえ、相續ノ場合ニサウ云フ規定ハ設ケナカクタノデアリマス

○河村讓三郎君 権利ノ主體ガ死亡シテソレヲ承繼スル者ガ無イ場合ニ、國庫ニ屬スルカト云フノガ我國ノ例デアリマス、此場合ニ限シテ無主物ニナシテ了フト云フ例ヲ認メマ

スカ餘程變例ヲ認メマスルコトニナルヤウニ思ヒマスガ、果シテソレデ宣シカ、サウスル無主物處分ヲドウスルカト云フコトニ付テ御考ニナシテ居リマスカ  
○政府委員(佐竹三吾君) 決シテ無主物ニナルト云フコト申シタノデハナイ、營業權ト云フモノが消滅スルノデアリマス、デスガ權利ノ目的トシテ居シ軌條トカ車輛トカ所謂物質的方面ノ一部ヲナシテ居シタ一體ヲナシテ居シタモノハ勿論是ハ私人ノ權利ニ屬モノデアリマスカラ、相續人ガ相續權ヲ放棄セザル限り、當然民法ノ規定ニ依シテ相續人ニ移轉スルノデアリマス、唯免許ニ屬スル權利義務ノ免許ト云フモノガ果シテ私法上ノ他ノ權利ト同ジヤウニ相談ノ目的トナルカドウカハ疑ガアルト思フノデアリマシテ、特ニ此規定ヲ設ケマシタ

○河村讓三郎君 ソコガ私ノ疑デアリマス、唯今ノ御説ニ依ルト免許權ダケ特別ニスル、其鐵道ノ軌條トカ附屬物ト云フモノハ民法ノ規定ニ依シテ相續スル目的ニナル、ソレデスカラ當然相續人ハ相續セネバナラヌ、相續届ヲセネバナラヌ、サウスレバ免許ニ屬スル權利義務ト云フ意味ガ、十九條ノ二項ト十八條ノ二項ト大變變テ居リマス、十八條二項ハ免許ニ依ル權利義務ト云フモノハ鐵道其物ヲ包含スルノデアル、十九條ノ第二項ハサウデナイ、是ハ免許權ダケデアル、鐵道其物ハ這入ラヌ、斯ウ云フヤウニ解釋スルコトハ甚ダ苦シイ解釋ニアリマス、ソレヲ私ハ初カラ疑シテ居リマスル……

○政府委員(佐竹三吾君) 十八條ノロトハ今申シマシタ如ク、之ヲ鐵道ト書キマシテモ、免許ニ屬スル權利義務ト書キマシテモ、多クノ場合ニ於テハ實際上ノ差ハナイト思ヒマス、併ナガラ若シ所謂物質的ニ鐵道ノ權利ノ歸屬者ト、免許ニ屬スル權利ノ歸屬者トヲ區別シテ、別ノ人格者ガ之ヲ持タウ、斯ウ云フコトヲ言ヒマシタ場合ニ、之ヲ認メテモ此十八條ニ差支ナク出來ル、併シ實際ノ例カラ申セバ免許ノ讓渡ハ、同時ニ免許ノ目的トシテ居シタ内容トシテ居リマシタ物件ノ讓渡ヲ併セスルノデアリマスガ、其物件ノ讓渡ニ付キマシテハ民法ノ規定ニ依シテ、物權ノ移轉、或ハ債務ノ承繼ト云フコトニナルダラウト思ヒマス、併シソレヲ十分區別ヲセズシテ鐵道ノ讓渡ハ宛モ營業ノ讓渡トナルト說クヤ

○河村讓三郎君 諸君の意見を聽取るに當り、本件は實地調査の結果、鐵道の設置が既に実現され、且つその運営も開始されている。そこで、鐵道の設置権とその運営権を如何に分離するかが問題となる。現在の法律では、鐵道の設置権は鐵道会社に認められており、鐵道の運営権は鐵道会社の運営によって生じる。したがって、鐵道の設置権と運営権は別個の権利である。しかし、鐵道の設置権と運営権を別個の権利として認めると、鐵道の運営権が他の権利と競合する恐れがある。そこで、鐵道の設置権と運営権を統合して、鐵道の設置権と運営権を同一の権利として認めることを提案する。

○河村讓三郎君 サウ云フコトニナルデアラウト思フヤウニ

○河村讓三郎君 サウ云フ場合ニハ、恐ラク隠居ト同時ニ營業免許權讓渡シニ付テ、主務官廳ノ監督官廳ノ許可ヲ與ヘルコトニナルダラウト思フノデアリマス、ハ隠居者ガ持テ居ル、サウシテ仕事ノ物件ダケハ相續人ニ移ルト變ナコトニ……

○政府委員(佐竹三吾君) サウ云フコトハ、私ハチヨット記憶ニハアサウシテ若シ其手續ヲシマセヌ時ハ、免許ニ屬スル權利義務ニ付テハ矢張リ從來ノモノ、即チ隠居者ガ其權利義務ノ所有者デアル、斯ウ解釋スルヨリ仕方ガナイト思フ

○河村讓三郎君 サウ致シマスト免許權ト、免許權ヲ實行スルニ缺クベカラザル種々ノ物件等ハ分離シナイデ、始終一所ニ区分スルトカ、移轉スルトカ、サウ云フコトニシタイト云フヤウナ御趣意ノヤウニモ聞エタノデスガ、ソレハ分離シテ、免許權ダケヲ別ニスルト云フコトヲ御認メニナルコトモ出来ルノデアリマスカ、今ノ隠居ノ場合ハ已ムヲ得ナイノデアリセウカ

○政府委員(佐竹三吾君) サウ云フコトニナルデアラウト思フヤウニ

○河村讓三郎君 諸君の意見を聽取るに當り、本件は實地調査の結果、鐵道の設置が既に実現され、且つその運営も開始されている。そこで、鐵道の設置権とその運営権を如何に分離するかが問題となる。現在の法律では、鐵道の設置権は鐵道会社に認められており、鐵道の運営権は鐵道会社の運営によって生じる。したがって、鐵道の設置権と運営権は別個の権利である。しかし、鐵道の設置権と運営権を別個の権利として認めると、鐵道の運営権が他の権利と競合する恐れがある。そこで、鐵道の設置権と運営権を統合して、鐵道の設置権と運営権を同一の権利として認めることを提案する。

○河村讓三郎君 サウ云フコトニナルデアラウト思フヤウニ

ス、併ナガラ之ヲ譲渡ス場合ニハ、多クノ場合ニ於テハ其實際上ノ財産即チ鐵道ノ本體モ合セテ譲渡スルコトガ多イノデアリマスガ、即チ結果ニ於テ鐵道ヲ譲渡シタト云フコト、多クノ場合ニ於テ一致スルノデアリマスケレドモ、併シ其財産權ノ譲渡或ハ債務ノ承繼ト云フコトハ、他ノ法規ノ即チ一般私法ノ支配ヲ受ケルモノアリテ、監督法規トシテハ行政官應ノ處分ニ依シテ受ケマシタ免許權或ハ免許ニ依テ生ジタ義務、其權利義務ダケヲドウスルカ、斯ウ云云フコトヲ規定シタノデアリマスカラ、ソレデ今御話ノ如ク之ヲ分離スルカ一致スルカト云フ御話デアレバ、ソレハ此ニハ見テ居ランノデアリマス、併ナガラ多クノ場合ニ於テハ兩者合セテ譲渡セルケレドモ、併シ監督上ノ取締トシテハ免許權ダケヲ見タノデアル、サウ云フ風ニ御了解ヲ願ヒタイ

○河村讓三郎君 サウ解シマスト十八條十九條ノ意味ハ一致スル、ドチラモ免許ノコトデアシテ、鐵道ト云フモノハ遣入ヲテ居ラス、斯ウ云フコトニナル、サウ致シマスト元ニ辰リマシテ八條ノ第二項鐵道ノ附屬物件トドウカト云フ疑ガ生ズル

○政府委員(山内確三郎君) 私モ今ノ問題ニ付テ御答へ致シマスガ、ソレデ非常ニ理窟張ルコトデアリマスガ、十八條ノ若シ免許ノ問題ハ棄テ、鐵道ダケヲ譲渡スト云フヤウナ極端ナ例ガアルト假定シマスレバ、十九條ノ支配スルコトデナイト私ハ承知イタシテ居リマス、私ハ免許ヲ譲ラズシテ鐵道其モノヲ譲ルト云フヤウナコトハ想像イタシテ居ラヌノデアリマス、唯前ノ附屬物ヲ譲渡スト云フコトハ、鐵道ノ本體ヲ持テ附屬物ヲ譲渡スト云フコトハ營業ノ執行上非常ニ宜シクナイコトデアルカラ、特別ノ規定ガアル、若シ免許ヲ持テ鐵道全體ヲ譲渡スト云フコトニナレバ結局廢業スル場合ト斯ウ考ヘル外仕方ガアリマセヌカラ、私ノ承知スル範囲デハ鐵道其モノ、ミヲ譲渡スルト云フコトハ此案ニ於テ想像シテ居ナイモノト斯ウ云フコトニ考ヘテ居ル

○河村讓三郎君 ソレデハ司法省ノ解釋デハ此許可權ト鐵道其モノヲ合セテ譲渡スコトガアラウ、其場合ハ十八條ニ依テ許可ヲ致シ、ソレカラ許可權ダケヲ譲渡ス、是ハ今鐵道院ノ政府委員カラ説明ニナリマシタ通リニ、是ハ幾ラモアル、建築ノ着手モ其場合モ十八條ニ依ル、斯ウ云フコトデ其スッカリ出來上ツタ鐵道ダケヲ譲渡シ、免許權ダケ讓渡サヌト云フコトハナイカラ、サウ云フ規定ハ必要ハナイ、斯ウ云フ解釋デアルト、ソレモ一ツノ見方デアリマセウガ、私ハニ依テ譲渡ス場合ハ、鐵道ダケヲ分離シテ譲渡シ許可權ト云フモノハ後トカラヤル、七十三條デ後トカラヤル、斯ウト云場合モアル、必シモ鐵道ダケヲ處分スルト云フコトハト

○ト云フコトハ断言スルコトハ出来ヌ、サウスレバサウ云フ場  
合モ此鐵道抵當法トノ關係ハドウ云フコトニナル  
○政府委員(山内確三郎君) 競賣ノ問題ニナルト、豫メ  
誰ニ讓渡スト云フヤウニ免許ノ讓渡ノ相手方ヲ定メルコト  
ハ實際出來ナイ、競賣スルト云フ以上ハ、例ヘバ外ノ例ヲ  
取ルト貸借權ノ附イタ建物ヲ讓渡スト云フコトニ考ヘテモ、  
之ヲ豫メ地主ノ承諾ヲ受ケテ置クト云フヤウナコトハ到底  
出來ナイモノデアル、必ズ競賣シテ而シテ後地主ノ承諾ヲ  
受ケルト云フコトニナラナケレバナラヌ、ソレト同様ニ鐵道其  
モノヲ競賣シテモ競賣シタ後ニ免許ノ讓渡ト云フ手續ニ掛ル  
ト考ヘマス、又單純ノ之ヲ讓渡トスルト云フコトニ付キマシ  
テモ、免許ナシニ鐵道ヲ讓渡スルト云フコトニハ断言ハ致サ  
ナイ、此案ヲ協議ヲ受ケルニ付テ私ハ想像ハ致シテ居ラスト  
云フコトゾ申上ケルダケアリマス、想像スル程ノ必要モナ  
カラウト考ヘマス

○河村讓三郎君 其件モ、此鐵道法ノ五十條モアタ方  
ガ今ノ趣意カラ推シテ考ヘルト宜ササウデアリマス、之ヲ削  
除サレテ居ラレルノデスカ、是ハムツカシイト云フ御話デアル  
ガ、是ダケノ五十條ノヤウナ資格ノアル者ノアル方ガ穩當デ  
アリサウニ思フ、態、削除セラレテ後カラ免許スルト云フノ  
ハ、何カ此改正ト相俟テ理由ガアルノデアリマスカ

○政府委員(佐竹三吾君) 五十條ト言ヒマスト、鐵道抵  
當法ノコトデアリマスカ

○河村讓三郎君 サウデス

○政府委員(佐竹三吾君) 是ハ削除イタシマシタ理由ハ  
鐵道起業者ノ資格ヲ私設鐵道法ガ株式會社ニ制限ヲ致  
シテ居ルノデアリマス、從テ競賣ニ依テ鐵道ノ營業者トナ  
ル場合ニモ同一ノ制限ヲ加ヘル爲ニ置キマシモノデ、今回  
ノ地方鐵道法案ニ於キマシテハ公人、公共團體モ許シテ居  
ルノデアリマスカラ、ソレデ削除シタノデアリマス

○河村讓三郎君 段々説明ガゴザイマシテ是デ私ノ質問  
ハ終リマス、司法省ノ方ニ私ハ質問ハアリマセヌ

○委員長(侯爵細川護立君) 司法省ノ方ノ政府委員ニ  
御質問ハゴザイマセヌカ

○小松謙次郎君 別段ニ司法省ノ方ニ伺フト云フ譯デア  
リマセヌガ、鐵道營業法ノコトヲチヨット伺ヒタイト思ヒマス

○委員長(侯爵細川護立君) 司法省ノ政府委員ニデス  
カ

○小松謙次郎君 矢張リ幾分カ關係シテ居ルノデアリマ  
スガ…

○小松謙次郎君 左様デゴザイマス、此鐵道營業法ト云  
ノハ從來矢張リ官設鐵道ニモ適用シテ來タノアリマス  
カ、官設鐵道ニ準用シテ扱ツテ居タノニアリマスカ、ソレトモ  
或ハ適用シテ居タノニアリマスカ  
○政府委員(中川正左君) 鐵道營業法ハ官私兩方ニ適  
用シテ居リマス  
○小松謙次郎君 其關係デチヨクト營業法ノ簡條ノ中デ  
伺ヒタイガ、今度此法律デ職制其他ニ關シタ部分ニ於テ政  
府及公共團體ノ鐵道ニハ適用シナイト云フ規定ガ這入ッタ  
ヤウデアリマスガ、ソレハドウ云フ關係デアリマスカ  
○政府委員(佐竹三吾君) 職制ニ關スル規定、ソレカラ  
服務規定、任用資格ニ關スル規定、此三ツノコト、ソレカラ  
懲戒ニ關スル規定、是ハ假令鐵道營業法カ國有鐵道ニ適用  
ガアリマシテモ、各、大權事項トシテ勅令ヲ以テ定メラレ  
ベキ事柄デアリマシテ、現ニ職制ニ付キマシテハ鐵道院官制ガ  
出テ居ルノデアリマス、ソレカラ服務規定ニ付キマシテハ官吏  
服務規律、ソレカラ鐵道院總裁ガ定メマシタ所ノ服務規律  
ト云フモノガ定メラレテアルノアリマス、任用資格ニ付キマ  
シテハ一般任用令ノ規定モ、特別任用令ノ規定モ各、勅令  
ノ定メガアルノデアリマス、制服ニ付キマシテハ勅令ニ依ヅテ  
制服ノ定メガアルノデアリマス、懲戒ニ付キマシテハ又文官  
懲戒令デ以テ鐵道係員ノ懲戒規則ト云フ規定ガアリマシ  
テ、何レモ鐵道營業法ニ基イテ其勅令ガ出テ居ルノナク  
シテ、即チ法律ヲ以テ規定スベキコトナクシテ、全ク大權  
事項トシテ勅令、或ハ大權ノ委任ヲ受ケテ行政官廳ニ於テ  
極メベキモノデアル、斯ウ云フ趣旨カラ之ヲ除キマシタノア  
リマス、從來ニ於キマシテモ無論サウ云フ解釋デアリマシテ、  
殊更今回ノ改正ニ際シマシテ之ヲ加ヘル必要モナイカトモ  
認メラレマスケレドモ、鐵道營業法ノ附則ノ第四十四條ニ  
「本法ハ私設鐵道法ニ依ラサル私設鐵道ニ之ヲ適用セス」、  
斯ウ云フ規定ガアリマシテ、即チ私設鐵道法ニ依ラナイ私  
設鐵道ニハ適用シナイト云フ半面カラ、國有鐵道ニモ此營  
業法ノ適用ハアルノデアルト云フコトヲ現ハシタ意味ニ是ガ  
條ノ規定ガアリダ爲ニ國有鐵道ニ適用ガアシタト認メテ居リ  
マシタノヲ、之ヲ削除シタノデアリマスカラ、サウ云フ誤解ノ  
此鐵道法ハ政府又ハ公共團體ノ鐵道ニ適用ガナインデナ  
生ズルコトヲ恐レマシテ、特ニ職制其他ニ關シテ斯ウ云フ規  
イカト云フ疑ガ起ル虞ガアル、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ四十四  
條ノ規定ガアリダ爲ニ國有鐵道ニ適用ガアシタト認メテ居リ  
共團體ノ鐵道ニハ適用ガナイ、即チ其外ノ規定ニ付テハ營  
業法ノ規定ガ全部國有鐵道ニモ適用ガアルト云フ所カラ、  
今回改正イタシタノデアリマス、別ニ他ニ何等意味ガナイン

デアリマス

○小松謙次郎君 矢張り同ジ關係アリマシテ、無論是

ハ大シタ關係ナイト思ヒマスクレドモ…

○委員長(侯爵細川護立君) 鐵道營業法ノ御質問ダケ

ナラバ後トテ願ヒタイト思ヒマス、地方鐵道法ニ關聯シタモノダケ…

○小松謙次郎君 イヤ當然關聯シテ居ル問題アリマス、

唯今ノ御話ハ固ヨリサウラウト思タノデアリマスクレドモ

多年斯ウ云フ規定ナシニ濟シ居タモノガ、特ニ斯ウ云フ

コトニ規定サレルコトニナリマシタニ付テ疑ヲ起シタノデアリ

マス、尙ホソレト似タヤウナ問題アリマスカ、モウツ伺ヒ

タイノハ此鐵道船舶郵便法ノ件アリマス、是モ申サバ鐵

道營業法ノ一部分トモ見ルベキモノデアッテ、郵便輸送ニ關

スル條件ヲ極メタモノアリマス、本來是ハ私設鐵道ニ…

主トシテ私設鐵道ニ適用スル爲ニ出來タノデアリマスガ、其

私設鐵道ナルモノハ國有ニ大部分變更セレテ、唯今ノ所デ

ハ私設鐵道ハ一ツモナイトコトニナッテ居ルゾレデ此度

之ヲ私設鐵道又ハ輕便鐵道ト云フモノヲ地方鐵道ト云フ

モノニ改メルト云フコトニナッタノデアリマスガ、此鐵道船舶

郵便法ヲ官設鐵道、所謂國有鐵道ニ適用シナイト云フノ

ハドウ云フ關係カラ來テ居ルノデアリマスカ、ソレカラ此鐵

道船舶郵便法ト云フモノハ元來長距離ノ鐵道輸送ニ對シ

鐵道營業ニ適用スベキ規定アルニ拘ラズ、之ヲ國有鐵道

ニ適用セヌト云フノハドウ云フ點ニアルノデスカ

○政府委員(佐竹三吾君) 此點ニ付キマシテハ從來ヨリ

遞信省ノ當局者ト協定ニ依テ致シテ居ルノデアリマシテ、

而カモ其協定ハ本法ノ適用ヲ受ケテ郵便輸送ノ料金ヲ極

メルヨリモモト廉イ、即チ此法律ヨリ以上ノ利益ヲ郵便輸

送ニ與ヘテ居ルノデアリマスカラ、實際上ニ於テ其必要ハナ

イノデアリマス

○小松謙次郎君 尚ホ唯今ノ點ニ付テ伺ヒタノ思ヒマス

ガ、實際此鐵道船舶郵便法ノ規定ヨリハ低料デ運送ヲシ

テ居ルカラ、之ヲ適用スル必要ハナイト云フ御話デアルノデ

アリマスガ、元來此法律ト云フモノハ長距離ノ輸送ニ對シ

テ出來タモノデアッテハ、例ヘ輕便鐵道デアリマストカ、軌

道法アルトカ云フモノハ寧ロ準用フルト云フ位ノモノデ

アル、ソレデ全國ノ輕便鐵道、私設鐵道ト云フモノガナイト

云フコトニナル場合ニアッテハ、宜シク是ハ鐵道營業法ノ一

部分トシテ、寧ロ國有鐵道ニ適用セラル、ヤウニ御直シニナ

ルノガ至當デハナイカト思フノデアリマス、必要ガナイカラト

云フ御話アリマスガ、元來是ガアレバコソ唯今ノ協定ト云

フモノモ出來テ居ルノデアルソレニ準ジテシテ居ルノデアリ

マシテ、此輕便鐵道、今マデ鐵道ト見テ居ラヌ輕便鐵道ニ

適用スル目的ヲ有タ法律トハ思ハレナイノデアリマス、從

ト云フコトハ…寧ロ其準用スペキモノデアッテ、本來此規

定ト云フモノハ高ケレバ廉クスルヤウニスルナリシテ、法律ヲ

以テ國有鐵道ニ適用スルヤウニ御作リニナルノガ至當デナ

イカト思フノデアリマス、其點ヲ尙ホモウ一應伺ニ置キダイ

○政府委員(佐竹三吾君) 此法律ノ趣旨ハ料金ノ低減

トソレカラ設備ニ付テ命令ヲスル、即チ強制シテ郵便輸送

ニ特別ノ設備ヲ爲サシムルト云フコトガ法律ノ出來タ所以

デアリマス、ソレデ同ジク政府ノ間ニ於キマシテ、法律ノ力ニ

依テ設備ノ強制ヲスルト云フコトハ今日ノ立法ニ於テハ必

要ハナイト考ヘルノデアリマス、政府部内ニ於テ必要ナル設

備デアレバ無論協定ニ依テスルノガ當然デアッテ、法律ノ力

ニ依テ之ヲ強制スルト云フコトハ其當ヲ得ナイモノト考ヘ

ルノデアリマス、從シテ此法律ハ私設鐵道ニ對シテ或ハ公共

團體ノ鐵道ニ對シテ強制スレバソレデ宜シイノデアル、政府

ノ鐵道ニ對シテ法律ノ力ニ依テ設備ノ強制ヲスルト云フ

必要ハナイト考ヘマス

○小松謙次郎君 尚ホ伺ニテ見タイノデスガ、鐵道運輸ノ

規定並ニ鐵道建設ノ規定ト云フモノガアリマス、同法ノ委

任命令デ決マルコトニナッテ居ル、法律ノ力ヲ以テ之ヲ強制

スル必要ガ無ササウニ思フノデアリマスガ、其點ハドウ云フ譯

必要ハナイト考ヘマス

○政府委員(佐竹三吾君) 今御話ノ如キ點ハ鐵道ヲ利

用スル個人トソレカラ鐵道トノ關係アリマシテ、單ニ政

府ト政府トノ關係アリマスレバ無論法律ハ要ラスト考ヘ

ルノデアリマス、唯民間ト、政府トノ關係ニ伴テ行ク、或ハ

ソレト同時ニ政府ト政府トノ間ニモサウ云フ關係ヲ生ズル

コトガアルナラバ偶其民間ノ規定ガ政府ノ他ノ機關ニモ

適用ガアル、適用ダケデアッテ、政府ト政府トノ間ニコトヲ目

的トシテ法律ニ依テ強制スルト云フコトハ如何カト考ヘル

ノデアリマス、他ニモ河川法ノ如キ、河川ノ改修工事ニ依ッ

テ鐵道ニ對シテ橋ノ架換ヲ迫ルトカ云フヤウナコトモ偶其

アリマスカ、元來此法律ト云フモノハ長距離ノ輸送ニ對シ

テ出來タモノデアッテハ、例ヘ輕便鐵道デアリマストカ、軌

道法アルトカ云フモノハ寧ロ準用フルト云フ位ノモノデ

アル、ソレデ全國ノ輕便鐵道、私設鐵道ト云フモノガナイト

云フコトニナル場合ニアッテハ、宜シク是ハ鐵道營業法ノ一

部分トシテ、寧ロ國有鐵道ニ適用セラル、ヤウニ御直シニナ

ルノガ至當デハナイカト思フノデアリマス、必要ガナイカラト

ル強制ハ必要ナイト考ヘマス

○小松謙次郎君 尚ホモウ一應伺ヒタノデアリマスカ、別段ニ約

國有鐵道ノ建設規定ハドウ云フ譯デアリマスカ、別段ニ約

適用スル目的ヲ有タ法律トハ思ハレナイノデアリマス、從

ト云フコトハ…寧ロ其準用スペキモノデアッテ、本來此規

定ト云フモノハ高ケレバ廉クスルヤウニスルナリシテ、法律ヲ

以テ國有鐵道ニ適用スルヤウニ御作リニナルノガ至當デナ

イカト思フノデアリマス、其點ヲ尙ホモウ一應伺ニ置キダイ

○政府委員(佐竹三吾君) 此法律ノ趣旨ハ料金ノ低減

トソレカラ設備ニ付テ命令ヲスル、即チ強制シテ郵便輸送

ニ特別ノ設備ヲ爲サシムルト云フコトガ法律ノ出來タ所以

デアリマス、ソレデ同ジク政府ノ間ニ於キマシテ、法律ノ力ニ

依テ設備ノ強制ヲスルト云フコトハ其當ヲ得ナイモノト考ヘ

ルノデアリマス、從シテ此法律ハ私設鐵道ニ對シテ或ハ公共

團體ノ鐵道ニ對シテ強制スレバソレデ宜シイノデアル、政府

ノ鐵道ニ對シテ法律ノ力ニ依テ設備ノ強制ヲスルト云フ

必要ハナイト考ヘマス

○小松謙次郎君 尚ホ伺ニテ見タイノデスガ、鐵道運輸ノ

規定並ニ鐵道建設ノ規定ト云フモノガアリマス、同法ノ委

任命令デ決マルコトニナッテ居ル、法律ノ力ヲ以テ之ヲ強制

スル必要ガ無ササウニ思フノデアリマスガ、其點ハドウ云フ譯

必要ハナイト考ヘマス

○政府委員(佐竹三吾君) 今御話ノ如キ點ハ鐵道ヲ利

用スル個人トソレカラ鐵道トノ關係アリマシテ、單ニ政

府ト政府トノ關係アリマスレバ無論法律ハ要ラスト考ヘ

ルノデアリマス、唯民間ト、政府トノ關係ニ伴テ行ク、或ハ

ソレト同時ニ政府ト政府トノ間ニモサウ云フ關係ヲ生ズル

コトガアルナラバ偶其民間ノ規定ガ政府ノ他ノ機關ニモ

適用ガアル、適用ダケデアッテ、政府ト政府トノ間ニコトヲ目

的トシテ法律ニ依テ強制スルト云フコトハ如何カト考ヘル

ノデアリマス、他ニモ河川法ノ如キ、河川ノ改修工事ニ依ッ

テ鐵道ニ對シテ橋ノ架換ヲ迫ルトカ云フヤウナコトモ偶其

アリマスカ、元來此法律ト云フモノハ長距離ノ輸送ニ對シ

テ出來タモノデアッテハ、例ヘ輕便鐵道デアリマストカ、軌

道法アルトカ云フモノハ寧ロ準用フルト云フ位ノモノデ

アル、ソレデ全國ノ輕便鐵道、私設鐵道ト云フモノガナイト

云フコトニナル場合ニアッテハ、宜シク是ハ鐵道營業法ノ一

部分トシテ、寧ロ國有鐵道ニ適用セラル、ヤウニ御直シニナ

ルノガ至當デハナイカト思フノデアリマス、必要ガナイカラト

ル強制ハ必要ナイト考ヘマス

○小松謙次郎君 尚ホモウ一應伺ヒタノデアリマスカ、別段ニ約

國有鐵道ノ建設規定ハドウ云フ譯デアリマスカ、別段ニ約

適用スル目的ヲスル所ハ矢張リ國家ト人民トノ關係ニ外ナ

ラスト考ヘルノデアリマス、唯今御話ノ郵便ノ如キモノモ、民

間ノ郵便會社ト云フモノデモアリマスルナラバ、ソレハ或ハ

道ノコトニ付テ御質問ガ殘シテ居レバ…

○委員長(侯爵細川護立君) 丁度時刻ゴザイマスカラ

休憩ヨリタシマス、午後一時カラ始メマス

○委員長(侯爵細川護立君) 午前十一時五十六分休憩

午後一時十五分開會

○委員長(侯爵細川護立君) ソレダヤ始メマス、地方鐵

道ノコトニ付テ御質問ガ殘シテ居レバ…

○男爵福原俊丸君 此地方鐵道ヲ作ラレタ御趣意ハ

ドウモ分ラヌコトガアリマスガ、簡單ニ伺ヒタ、是モデ私設

鐵道、輕便鐵道ト云フヤウナモノカアッタノデ今尙ホ其法令

ニ附隨シタ命令ト云フモノガアッテ、サウ云フコトヲ簡單ニ

一ツノ法案ニ統一スルト云フノガ主ナル…目的ハソレデア

ルカ、或ハ段々輕便鐵道ヤ私設鐵道ヲ作タ時ヨリモ地方

ノ開發ノ程度ガ進歩シテ來タ、將來交通ノ便利ヲ餘程切

ニ感ジテ居ルカラ、鐵道ヲ共用スル目的ニ於テ此法案ヲ出

シテ統一サレルト云フ御趣意アリカ、例ヘ此地方鐵道

法中ニ是マデハ軌道ノ制限ハ輕便鐵道ノ方デハ無カッタノ

コト、今度三呪六時、四呪六時半、或ハ一呪六時トスウ云

フ風ニ決メタ、是ハ特ニ其趣意ガ載テ居リマスカ、サウスル

ト幅ダケ、軌間ダケヲ決メテモ、矢張リ或ル程度マデソレニ

以下ハ成ルタケ使ハヌヤウニスル、若シ或ル程度ノ制限ヲシ

ナイト云フト、鐵道ノ共用ト云フモノニ重キヲ置ク、將來

連續運轉スル場合ニ、矢張リ軌條ノ幅ハ同ジテモ其上ヲ走ラセル上ニ、其耐壓力が違へバ、自然連續運轉ヲサセル譯ニ行カヌト云フヤウナ譯ニナルカト思ヒマス、其點ニ對スル御趣意ヲ伺ヒタ

○政府委員(佐竹三吾君) 地方鐵道法案制定ノ大體ノ趣意ハ現行法ヲ基ト致シマシテ、是ガ現行法ノ不備ヲ正ス

ト云フコトニ致シタ、唯今御話ノ軌間ニ付テノ制限デアルトカ、或ハ鐵道ト軌道ト連絡ヲ便宜ニスルトカト云フヤウナ點ニ付テ、改正ヲ加ヘタ點モアルノデアリマスガ、要スルニ現行法ノ趣旨ヲ基ニシタルニ外ナラズノデアリマス、現行、私設鐵道法デハ、專ラ軍事上其他ノ目的カラ、列車ヲ直通スルコ

トヲ主眼ト致シマシテ、設備ニ付テムツカシイ制限ガアッタノデアリマスガ、今日ニ於テハ最早斯ウ云フ目的デ私設鐵道ヲ敷設スルモノハ餘程少クナリマシテ、多クハ一地方ノ交通

ヲ目的トスルコトデアリマスカラ、直通ヲ主トシテ設備ニ制限ヲ加ヘルコトノ必要ハ、私設鐵道法ノ趣旨ヨリハ餘程減

少シテ居リマス、サウカト申シマシテモ、地方鐵道法ニ於キマフ敷設スルモノハ、餘程少クナリマシテ、多クハ一地方ノ交通

ヲ目的トスルコトデアリマスカラ、是等ノ點ニ付テ強制ヲ加ヘテ居

タノデアリマス、軌間ノ制限ノ方ニシテモ「レール」或ハ建築

條規車輛條規等ニ付テモ、勿論當局ヲ考ヘテ居ルノデアリ

マシテ、「レール」ノ如キモノアリマシテハ、大體製鐵所ノ供給ニ仰ゲト云フ、趣旨デアリマスカラ、製鐵所ニ於キマシテモ、

略、一定ノ目方ノ「レール」ヲ造ルコトニナリマス、供給者トシテモ好都合デアリマスカラ、サウ云云フ制限ヲ矢張リ附スル考

テアリマス

○男爵福原俊丸君 是マデ輕便鐵道デ許シテ居ル機關力ヲ使用シナカダモノハ、無論地方ノモノニハ許サレント了

解シマスガ、若シサウ云フヤウナ輕便鐵道ガ從來ノ線路ヲ擴張スルトカニ云フヤウナ場合ニハ、ソレハ許可サレルト云フ御方針デアリマスカラ、今迄ヤツテ居ルノハ已ムヲ得ズ機關デナクテモ、ソレハ認メラレルコトデアリマスカラ

○政府委員(佐竹三吾君) 現ニ免許ヲ得テ居リマスノハ此儘デアリマスケレドモ、更ニ延長線ヲ敷設スルト云フ場合ニハ許サヌ考デアリマス、其結果ハ自ラ今迄ノモノモ動力ヲ改良スルト云フコトニナルト考ヘテ居リマス

○男爵福原俊丸君 先程伊東子爵カラシテ御質問ニナ、

タ件ニ聯關イタシマスガ、此關係ニ於テ鐵道ヲ買收スル時

ニ其買收ノ價格ノ標準、ソレハ現行ノ輕便鐵道ニ依ルト云フ

ト、慥カ三年間六營業期間ニ於ケル利益ノ割合カラシテ、ソレニ持テ行シテ二十五倍ニスルト云フヤウナ風ニナシテ、ソレカラ此地方鐵道ノ方ニ依レバ二十倍ト云フコトニナシテ居リマス、ソレヲ今少シ具體的ニ考ヘテ見マスルト年四分ト

云フヤウナ利益ニ其鐵道ガナラニ居レバ、丁度輕便鐵道ノ方デ行ケバ二十五倍デスカラ丁度建設費ト同ジコトニナル

ノデアリマス、此法ノ二十倍ノ方ヲ取ルト年五分ト云フコトニナシテ居ルヤウニ思フ、其標準ヲ輕便鐵道ノ標準ヨリモ、

此方ノ方ヲ少シ上ダタト云フコトハ、ドウ云フ理由デアリマスカ

○政府委員(佐竹三吾君) 是ハ全ク公債ニ關スル大藏省ノ方針カラ定メマシタノデアリマス、從來ハ四分利公債ヲ多ク發行イタシテ居リマシタノデアリマスガ、國庫證券ノ法律ガ、今日ニ於キマシテハ五分利ヲ標準ト致シテ居リマスカラ、五分利公債ヲ交付スルト云フコトニナリマスレバ、二十

倍ニスルト云フコトガ適當デアルト考ヘタノデアリマス、其公債ノ方面カラ「十五倍」二十倍ニ致シタノデアリマス

○男爵福原俊丸君 衆議院ノ方デ第三十條ニ修正ヲ加ヘマシタニ間違ヒマシタ、衆議院ノ方デ三十四條ト云フ

條文ヲ加ヘテ、其地方鐵道業者ハ兼業ヲ營ム場合モ兼業ニ屬スル資產ヲ買收スルコトガ出來ルト云フ修正ヲサレマシタガ、是ハ無論政府ニ於テ御同意ノコト、考ヘマスガ、其

買收價格ハ協定ニ依ルトナシテ居リマス、之ナドハ別ニ標準ト云フヤウナモノヲ、ドウ云云フ標準ニ依ルト云フコトハ、即チ買

程度マデ極メナクテモ實際ニ當テ差支ナイモノデアリマス

カ

○政府委員(佐竹三吾君) 此買收價格ノ標準ヲ極メマスノハ、一ツハ買收セラレル會社ノ利益モ保護スルト同時ニ、政府ノ方モ不當ノ高イ價格デ買收シナイト云フ、即チ買

方ノコトモ考ヘマシテ、之ヲ極メタノデアリマス、兼業ニアリマスレバ、政府が必要ト認メマスルモノハ買收スルシ、必要ト見ナケレバ兼業ハ買收シナイト、其價格ニ付キマシテモ協定

が出來レバ買フコトニナリマスルシ、協定ガ出來ナケレバ買

フコトヲシナインデ済ムノガ多イグラウト考ヘルノデアリマス、サウ云云フヤウナ點カラシテ兼業ニ付キマシテハ、特ニ標準價格、價格ヲ算出スル標準ヲ極メナカッタノデアリマスガ、實際ノ運用ニ當リマシテモ不便ノナイコト、考ヘテ居リマス

○委員長(侯爵細川護立君) 三十四條ノ兼業ト云フコトニ付テハ、衆議院ノ速記録ヲ見ルト政府ハソレ程マデスル必要ハナイト云フノデ政府案ヲ維持サレタヤウデスガ、サウ

ナシテモ差支ナインデアリマスカ

○政府委員(佐竹三吾君) 此鐵道敷設法ノ全體ニ亘リマシテ、改正ヲ要スル點ガアルト考ヘテ居リマスカラ、是ハ其國際ニ讓ル積リゴザイマス

○男爵福原俊丸君 先ホド御尋ネシマンシタ買收價格ノコトニ付テ、モウ一ツ伺シテ置キタノデアリマスガ、三十二條

マシテ、改正ヲ要スル點ガアルト考ヘテ居リマスカラ、建設

費ニ達セザル場合ハ、建設費以內ニ於テ協定シタル金額ヲ以テ買收スルト云フノデアリマスガ、其建設費ノ標準ハ、私

設鐵道會社ノ帳面ニ在ル建設費額ヲ標準トサレル譯デス

カ、隨分私設鐵道ニハ建設ノ當時ニ不當支出ヲヤル場合

ガ多イヤウデスガ、建設費ノ標準ハドウ云フ風ニ見ルノデアリマスカ

ス考デ居タノデアリマス、又其鐵道國有法ニ於キマシテモ斯ウ云フ意味ノ規定ガアタノデアリマスガ、之ガ爲ニ政府ニ何等ノ束縛ヲ生ジナイコトデアリマスレバ、此規定ヲ入レ

合セテ買フト云フコトニ付テハ、敢テ反對ハ申シテ居ラヌノデアリマスカラ、唯買收ヲ致シマスル個々ノ場合ニ兼業モ委ネルカ、或ハ此際概括的ニ規定ヲシテ置クカト云フコトハ實際ニ於テハ差支ナイノデアリマス

○委員長(侯爵細川護立君) サウスルト買收スルト云フコトヲ書カクテモ買收シタケレバ買收スルコトガ出來ル、

○政府委員(佐竹三吾君) 買收スルヲ得ト云フ意味ハ、會社ヲ強制シテ買收スルト云フ法文ニ意味ガアル、會社が買收ニ應ズル場合ニハ法律ニナクテモ買收スルコトが出来ルノデアリマス

○子爵伊東祐弘君 今ノ小松サンノ御質問ノコトハ了解ヲ致サヌノデアリマスガ、鐵道敷設法ノ第十四條ノ規定ハ

○政府委員(佐竹三吾君) 第十四條ノ私設鐵道會社ト申シマスルノハ、私設鐵道法ニ依テ免許ヲ受ケマシタ會社ヲ云フノデアリマスガ、今日ニ於キマシテモ之ニ該當スル會社ハ一ツモ無イノデアリマス、私設鐵道法ガアリマスレバ、今後或ハ同法ニ依テ免許ヲ受ケルモノモアリ得ルノデアリマスケレドモ、私設鐵道法ヲ廢止イタシマスレバ、サウ云フ會社ニ成立ハ出來ナイコトニナリマスカラ、自然ニ此條丈ケハ働キガ無クナル、斯ワ云フ文字ハ現在アツモ、之ニ當嵌マル會社ハ一ツモナインデアリマス

○子爵伊東祐弘君 特ニ此條文ハ削除ナサルト云フコトナインデスカ、此儘ニシテ置キマスカ

○政府委員(佐竹三吾君) 此鐵道敷設法ノ全體ニ亘リマシテ、改正ヲ要スル點ガアルト考ヘテ居リマスカラ、是ハ其

國際ニ讓ル積リゴザイマス

○男爵福原俊丸君 先ホド御尋ネシマンシタ買收價格ノコ

トニ付テ、モウ一ツ伺シテ置キタノデアリマスガ、三十二條

マシテ、改正ヲ要スル點ガアルト考ヘテ居リマスカラ、建設

費ニ達セザル場合ハ、建設費以內ニ於テ協定シタル金額ヲ

以テ買收スルト云フノデアリマスガ、其建設費ノ標準ハ、私

設鐵道會社ノ帳面ニ在ル建設費額ヲ標準トサレル譯デス

カ、隨分私設鐵道ニハ建設ノ當時ニ不當支出ヲヤル場合

ガ多イヤウデスガ、建設費ノ標準ハドウ云フ風ニ見ルノデアリマスカ

○政府委員(佐竹三吾君) 大體ニ於キマシテ會社ノ建

設費トシテ計算シタモノニ依ルノデアリマスケレドモ、今ノ御話ノ如キ不當支出、或ハ重役ノ使ヒ込ミ等ノ金額ガ建設費ノ中ニ包含サレテ居ル場合ガアルノデアリマスカラ、是等ニ付キマシテハ當局ニ於キマシテ、會社成立以來ノ建設費ニ付テ查定ヲ加ヘテ居ルノデアリマスカラ、會社ノ建設費ト查定シタ建設費ノ間ニ、開キ起ルコトモアリ得ルノデアリマスカラ、當局ノ認メテ適當ナル建設費ト認メル所ノ金額ヲ、標準トスル考ヘテアリマス

○委員長(侯爵細川護立君) チヨット、本議場デ阪本君カラ、全國ノ地方鐵道ト云フ廣イモノガ出來タニ拘ラズ、軌道條例ヲ別ニシテ置クト云フコトハ、甚ダ聞エヌト云フ質問ガアリマシタガ、其時ニ床次君ハ、道路法モ出來ル、道路法ガ出來テカラ、更ニ軌道條例トカ何トカ其他ノモノモ、次回ノ議會マデニハドウニカナルダラウト云フ、話デアリマシタガ、道路法ガ出來タ爲ニ、今度拵ヘタ法律ニ影響ガアル場合ハナイノデスカ

○政府委員(佐竹三吾君) 道路法制定ノ結果、地方鐵道ノ規定ニ影響ヲ及ボスモノハナイト考ヘテ居リマス、ソレハ地方鐵道法ノ第四條ニ於キマシテ、道路ニ敷設スルコトヲ禁ジテ居ルノデアリマス、原則トシテハ・ソレデアリスカラ、道路法ノ制定ガドウ云フ風ニナリマシテモ、本法ニ直接影響ヲ及ボスヤウナコトハナイト考ヘテ居リマス

○古市公威君 皆サンニ御質問ガナケレバ、私ガ質問スル小サイ事ニ付テヨイ、伺ヒタイコトガアル、ノ一條ノ二項ト三項デスナ、第三項ノ場合ハ、斯ウ云フ規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ムトセズニ、本法ヲ準用スルト云フコトニシタラドウカ

○政府委員(佐竹三吾君) 三項ノ場合ハ専用鐵道ニアリマシテ、一般旅客貨物ノ輸送ヲ目的トシテ居ラヌノデアリマスカラ、設備ニ著シイ相違ガアルダラウト思テ居リマス、從テ法ノ規定ニ依テ取締ルノガ適當ト考ヘルノデアリスガ、共通ノ部分モ相當ニアルコトハアルノデアリマス、是ハ全ク鐵道ガ目的ヲ異ニ致シテ居リマスカラ、現行法ガ矢張リスウ云フ主義デ規定ヲ設ケテ居リマスカラ、其主義ニ依リタ方ガ適當ト考ヘマシテ、詳細ノ規定ハ命令ニ譲タノデアリマス

○古市公威君 第二項ト第三項ノ違ヒハ、鐵道業者ト公共團體ガアルト云フ違ヒダケデハナイデスカ

○政府委員(佐竹三吾君) 仰セノ通りアリマスガ、二項ノ方ハ鐵道營業者アレバ、地方鐵道法ノ支配ヲ受ケルノデアリマスガ、ソレガ支線ヲ專用ノ爲ニ敷設イタシマシタ時ハト、斯ウ致シマシタ結果カラ、之ヲ規定イタシマシタニ付キマシテハ當局ニ於キマシテ、會社成立以來ノ建設費ト査定シタ建設費ノ間ニ、開キ起ルコトモアリ得ルノデアリマスカラ、當局ノ認メテ適當ナル建設費ト認メル所ノ金額ヲ、標準トスル考ヘテアリマス

○古市公威君 效力ヲ失フト云フコトニナルト、何カ或スル為ニ、專用鐵道ニ對シテハ本法ニ依ラシメルト、斯ウ云フコトニシタノデアリマス、又實質力ヲ申上ダマシテモ、營業線ノ支線ニ對シテハ、營業用ノ機關車モ貨車モ入ル譯デアリマスカラ、設備等ニ付テ同ジ規則ノ支配ヲ受ケルノガ相當デアリマスカラ、ソレデ支線ノ場合ハ、本法ニ依ラシメタノデ、純然タル専用鐵道ヤレバ、規則ヲ別ニシテ取締モ簡單ニスル方が便宜ト考ヘテ、斯ウ致シマシタ

○古市公威君 是ハ勿論體裁ダケノ話デスガ、全體第一條ニ「地方鐵道ニ之ヲ適用ス」とアルガ、此「地方鐵道」ハ取テハドウデスカ、「敷設スル鐵道ニ適用ス」ト云ヘバ宜イ、一地方ノ交通ヲ目的トスル鐵道ヲ、地方鐵道ト名ケルト云フコトデモアレバ宜イガ、地方鐵道ト云フノハ空發ノヤウデスガ、是デ宜イデスカ

○政府委員(佐竹三吾君) 此法文ノ中ニ鐵道ト云フ文字ト、地方鐵道ト云フ文字ト使ヒ分ケテアリマス、鐵道ト云フト、國有鐵道モ入ル意味ニ使テ居リマス、地方鐵道ハ此法ノ適用ヲ受ケル鐵道ノ意味ニ使ヒ分ケマシタハ其結果一條ノ第一項ニモ地方鐵道ト致シマシタノデ、他ニハ何モ意味ハアリマセヌ

○古市公威君 本當ハ斯ウダト思フ、公衆ノ用ニ供スル爲敷設スル鐵道、前項ノ鐵道ヲ地方鐵道ト名ケル、

○政府委員(佐竹三吾君) サウ云フ意味デス

○古市公威君 ソレカラ十九條一項ノ二號「工事施行ノ認可ヲ受ケサルトキ」、是ハ其受ケザルト云フコトニナルノハ、或ル期間カ何カ連帶シヤシナイカネ、何カ施行認可ヲ與ヘラレナイヤウナ、認可ヲ申請シテ來タ、直ス、幾フ經テモ其期間ニ認可ヲ受ケナイ時ニハ、免許ガ效力ヲ失フト云フコトニナシテ、免許ガ效力ヲ失フト云フコトニナルノデアリマス

○古市公威君 ドウモ初メテ受ケナイト云フノハ、或ル處分カ、或ル期間カ何カナイトイケナイト思ヒマス、矢張リ却下スル積リデスカ

○政府委員(佐竹三吾君) ハイ

○古市公威君 デヤ宜シウゴザイマス、ソレカラ二十二條ノ二項ノ方ノ列車ハ、貨物列車モ這入シテ居リマセウナ

○政府委員(佐竹三吾君) 左様デゴザイマス

○古市公威君 前ノ一項ノハ旅客列車及ビ混合列車ト云フコトヲ特ニ舉ダテアリマス、二項ハ唯列車トアルガ、有ラユル種類ノ列車デスカ

○政府委員(佐竹三吾君) 左様デゴザイマス、ソレハ貨物列車ハ全ク其時間ヲ定ムル必要モナイノデアリマスカラ、ソジコトニナリマスケレドモ、斯ウ云フ場合ニハ却下スルト云フコトヲ特ニ舉ダテアリマス、二項ハ唯列車トアルガ、有ラユル種類ノ列車デスカ

○古市公威君 私モ畢竟其意味デアラウト思シタノデス、ソレカラ三十一條ノ規定ハ、大抵國有ノ規定ト同ジデスカ、ドッカ達デ居リマスカ

- 政府委員（佐竹三吾君）　國有ノ方ノ第五條ノ一號ノ規定ト同ジデアリマス

○古市公威君　三十七條ノ「鐵道ヲ敷設シト云フ、敷設シト云フ意味ハ、新ニ工事ヲスルト云フコトモ這入テ居リマスネ、工事ニ着手スルト云フコトモ…」

○政府委員（佐竹三吾君）　工事ニ着手スルコトモ含ンデ居リマス

○古市公威君　四十一條ノ二項ノ「認可ニ附シタル條件ニシテ本法ニ抵觸スル」、是ハドンナモノガアリマスカ

○政府委員（佐竹三吾君）　是ハ別段命令書ノ中ニ二十倍ノ計算デ買收スル、四分利公債ヲ發行スルト云フヤウナコトガ、矢張リ命令書ノ中ニアリマスカラ、ソレデ矢張リ全部此法律ニ依テ、二十倍五分利ト云フコトニスルノデアリマス

○古市公威君　今ノ御話ハ四分利附二十五倍デヤツテモ宜カラウト思フガ、細カイ勘定ハ違ヒマスケレドモ、強ヒテ直サナクトモ宜ササウニ思フノデスカ

○政府委員（佐竹三吾君）　大藏省ハ、此頃デハ四分利公債ヲ發行イタシマセヌ、全部五十五年償還期限ノ五分利國庫證券、アノ條例ニ依テ五分利公債ヲ發行シテ居リマスカラ、矢張リ改正スル必要ガアルト思ヒマス

○古市公威君　サウデスカ、サウスルト此法律ノ如何ニ拘ラズ其方カラ云ヘバ前ノ方ヲ改正シナケレバナラヌコトニナルノデスカ、前ノ命令ヲ御改メニナルノデスカ

○政府委員（佐竹三吾君）　左様デゴザイマス、併シソレハ協定ニ依テ五分利公債ヲ向フガ承諾スルコトニ致シテ居ルノデアリマス、現ニ仙北輕便鐵道會社ノ如キハ、會社ノ承諾ニ依テ五分利公債デヤルコトニナリマシタ

○古市公威君　ソレハ協定シテ居ルノデスカ

○政府委員（佐竹三吾君）　協定シテ居リマス、ソレデ是ガ法律デ變リマスレバ要シナインデアリマス、サウ云フ差ガアルノデアリマス

○古市公威君　マダ他ニモアリマスカ、抵觸シテ居ルモノハ…

○政府委員（佐竹三吾君）　其他ニ付キマシテハ大シタ影響ヲ及ボスモノハナイト考ヘマス

○古市公威君　私設鐵道同志會カラ修正意見ガ出テ居リマス、之ニ付テ一ツ當局ノ御考ヲ伺ヒタイ、御承知ダラウト思ヒマスガ、御承知ナイノデスカ

○政府委員（佐竹三吾君）　私設鐵道同志會カラ申出デマシタコトノ中デ、稍、筋ノ通タト見ルベキコト、思ハレマスノハ、其一番仕舞ヒノ鐵道ノ利益ノ著シク減少シタル時ニハ、營業廢止ノ場合ト同ジヤウニ、三十六條ニ依テ救濟ヲ

○古市公威君 其理由ヲ少シ伺ヒタイノデアリマス、其他ノ書ニ依リマシテ、會社ハ解散ニ付テ何等制限ヲ受ケテ居ヌノデアリマス、然ルニ今回法律ヲ改正シテ、主務大臣ノ認可ヲ受ケテナレバ解散ノ效力ヲ生ジナイト云フコトニナレバ、商法ノ規定ニ制限ヲ加ヘルコトニナレバ、今マテ受ケテ居タゞ保護ヨリモ、其保護ガ狹クナル、ソレデ今マテノ奴ニ對シテハ無論ノコトデアルシ、今後免許サレル奴ニ付テモ、商法ノ規定ノ程度ニ止メテ貴ヒタイ、斯ウ云フノガ希望ノ趣旨デアラウト思フノデアリマス、然ルニ唯今マテノ實際ノ經験ニ依リマスルト、解散ト云フコトハ株主總會ナリ、或ハ社員總會ノ決議ニ依ギテ、任意ニ出來ルノデアリマス、其結果ハ會社ガ解散シテ免許ヲ受ケマシタ其主體ガナクナルノデアリマスカラ、詰リ營業ヲ當然廢止スルコトニナルノデアリマス、折角公益機關トシテ出來タ鐵道ガ、株主ノ意見或ハ社員ノ考ダケニ依ギテ廢業スルト云フコトニナリマシテハ、地方ノ經濟界ニモ非常ノ打擊ヲ與ヘルコトニナリマスカラ、取締上營業廢止ニ付キマシテハ、監督官廳ガ之ヲ取締ル必要ガアラウト思フノデアリマス、現ニ營業ヲ全部又ハ一部ヲ休止又ハ廢止スル時ニハ、監督官廳ノ認可ヲ受ケテ居ルノデアリマスカラ、其規定ト釣合ヲ執ル上カラ言ヒマシテモ、解散ダケハ會社ノ勝手デアル、斯ウ云フコトハ不穩當ト考ヘルノデアリマス、ソレデ今回此規定ヲ加ヘタノデアリマス、ソレデアリマスカラ、營業ハ監督官廳カラ監督ヲ受ケルト云フ趣旨ヲ徹底スルノニハ、解散ニ付テモ制限ヲ設ケルノガ、是ハ至當ノコト、考ヘテ居ルノデアリマス

○古市公威君 此運輸營業ノ二十七條ノ一項デスナ、一項ノ運輸營業ノ全部又ハ一部ヲ休止シ又ハ廢止スルコトハ、主務大臣ガソレヲ取締ライト出來ナイノデスカラ、ガアッタナラバ、二項ハ無クトモ宜クハナイカト思フノデスガ

○政府委員(佐竹三吾君) 二十七條ノ一項ダケデアリマスルト、會社ハ解散シマシテ、其會社ガナクナレバ營業スル必要云フコトハ自然消滅スルコトニナリマスカラ、一項ヲ適用スルコトガ出來ナイコトニナルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、鐵道ニ付テハ強制スル必要

營業ヲ強制スルト云フ意味ヲ、鐵道ニ付テハ強制スル必要ガアル、其強制ノ方法ハ二項ノヤウナ規定ヲ設ケテ置キマセドウ云フコトデ削除シテ吳レタカ分ラヌヤウデアリマスガ、ソヤウニ考ヘマシテ、同志會ノ人ニモ其意味ヲ御詫シテ置キレバ…

○男爵福原俊丸君 丁度之ニ關聯シテ、是マデアリマス私設鐵道法ノ方ニハ、買上ダルノニ、五年間ノ純益金ノ配當ノ平均額ヲ參酌シテ、ソレニ二十倍ト云フコトニナリマスルガ、輕便鐵道ハ三年間、ソレカラ見マシテ私設鐵道ノ五年間トヲ比較シテ見マスト云フト、輕便ハ三年間ノ平均ヲ見ルコトアリマスカラ、私設ノ五年間ノ平均ヲ見ル方ガ、確ニ買ハル會社ニ取テハ利益デアルト思ヒマスガ、ソレカラ此新シイ地方鐵道法ニ依ルト三年間、即チ輕便鐵道ト同ジヤウニ、三年間ノ純益ノ配當ヲ見ル、サウシテ二十倍ニスルト云フコトニナルト、一番割りガ惡クナル、此會社ノ營業狀態が良い場合ハサウデモアリマセヌガ、惡い場合ニハ、地方鐵道法案ニ依テ決メラレルヤウニナルト、割合カ買ハレル方ノ側ニ不利益デアルヤウニチヨット思ハレマスガ、ソンナ風ニハナリマセヌカ

○政府委員(佐竹三吾君) 五年間ノ平均利益ト、三年間ノ平均利益ト、何方が會社ニ取テ有利ニナルカト云フコトトハ、是ハ一概ニハ申サレマセヌ、各、場合ニ依シテ違フト恩ヒマス、併シ全體ノ上カラ申上ゲマスレバ、三年間ノ平均ノ方が利益ノ場合ガ多イト思フノアリマス、ソレハ何故カトナ申シマスレバ、鐵道ハ年々利益が増加スルモノデアリマシテ、利益が増加スレバ、其増加シタ年數ヲ計算ニ入レルノガ利益デアリマスカラ、五年ナレバ、詰リ其後二年間ノ割合ニ不利益デアリマシタ期間ガ、矢張リ平均ノ中ニ加ハルコトニナリマスカラ、大體カラ申シマスレバ、三年ニシタ方ガ會社ノ利益ダラウト思ヒマス、併シ一概ニ此區別ハ出來マセヌノデアリマシテ、漸次會社ノ利益率が増加スルモノデアル、斯ウ云フ假定ノ下ニハ、三年ノ方ダ確カニ利益デアリマス

○男爵福原俊丸君 私ハ反對ニ考ヘテ居ルノデアリマス、段々營業ガ苦シクナツテ來テ、兎ニ角營業シテ行カレヌヤウニ見込ガ付イテカラ、買上ダルコトニナル譯デアリマスカラ、サウスルト云フト、段々此毎年ノ配當が減テ來ルカラシテ、今ノ相當ニ利益ガ毎年殖エテ行ク時ハ、無理ニ買上ダゲテ貰ナクトモ差支ナナイ譯デアリマスガ、營業ガ不振ニナッテケラ

買上ダテ貰フコトニナルノデアリマスカラ、サウスルト云フト  
三年ヨリ五年ノ方が割合ガ良イヤウニナリマスガ、ソレハ一  
概ニ言ヘマセヌケレドモ、常識デ判断シテ……

○政府委員(佐竹三吾君) 今ノ御話ノハ、三十一條ノ場  
合ニハ少シ當嵌ラヌカト思フノデアリマスガ、三十六條ノ方  
スガ、併シ是ハ伊東子爵ニ御答イタシマシタ如ク、元ニ詰リ  
現行法ニ於テハ、何等ノ救濟ノ途ガナカダノアリマスカラ  
ラ、ソレニ對スル救濟ノ方法トシテハ、此位ノ程度ナラバ十  
分ト考ヘルノデアリマス、三十一條ノ方ニアリマスレバ、御話  
ノ如キ御心配ハナイト思シテ居リマス

○古市公威君 矢張リ修正意見ノ方デスカ、補助金ヲ利  
益ノ中ニ加算スルノハ、蟲ノ宣イ話デスガ、併シ補助金ニア  
レバ一ツ收入ダネ

○政府委員(佐竹三吾君) 収入デハアリマスケレドモ、鐵  
道ソレ自體ノ生ミ出シタ收入ヨリ、全ク性質ヲ異ニシテ居  
ルモノデアリマスカラ、政府が買收イタシマストキハ、其鐵道  
ノ真價ニ依ルコトニアリマスレバ、補助ニ依テ受ケマシタ收  
入ハ、之ヲ除クノガ至當ダト思ヒマス

○古市公威君 企業者ガ計畫スルトキ、法律デ規定シテ  
アルノデ、補助ヲ見込シテ計畫スル、ソレダケノ收入ガアルモ  
ノデアル、サウスルト見込ム方ガ當然デハナシマストキハ、其鐵道  
ノ保障デアリマス、其鐵道ガ五分ノ利益ヲ舉ゲルコトガ出  
來ナイトキハ、政府ノ補助ハ五分マデノ利益ヲ保障スルノデ  
アリマスカラ、サウ云フ鐵道デアリマスレバ、其利益ノ平均  
ヲ二十倍イタシマシタトキノ建設費以下ニナリマスト、ソレ  
ヲ建設費デ買フコトニナリマスカラ、何等差支ハアリマス

○古市公威君 是ハ算法ガチヨット分ラヌガ、ドウ云フ……

○政府委員(佐竹三吾君) 是ハ先程原男爵ノ御尋ね  
ガアリマシタガ、會社ノ建設費モ不當ノモノガアル、ト云フノ  
ハ營業收入、營業費ノ中ニ不當ト認メルモノガアルノデアリ  
マスカラ、政府ニ於テ之ヲ買收スルトキハ、會社ノ報告書其  
儘ヲ襲用スルコトハ出來ナイ、ソレデ相當ト認メル標準ニ  
依テ査定ヲ加ヘテ、ソレヲ計算ノ基礎トスル、デアリマスカ  
ラ是モ贊成イタシマセヌ

○古市公威君 ソコテ此三十五條デスガ、「損失ヲ補償ス  
ルコトヲ得」賠償スルトハナシニ、是ハドウ云フ工合ニ……

○政府委員(佐竹三吾君) 是ハ營業廢止ニ依テ蒙ル、  
其損失ヲ補償スル意味デアリマス、其營業廢止ト云フコト  
ガ、會社ノ自發的ノ結果デアリマスレバ、之ヲ政府ニ於テ保  
護スル必要ハナインデアリマスケレドモ、一方ニ政府が鐵道ノ  
敷設ヲ補助シテ、其普及ヲ圖ッタリ、片方ニ其區間ニ政府

ガ鐵道ヲ敷イタ爲ニ、其會社ヲ潰スニ至ッテモ、何等救濟ヲ  
與ヘナイト云フコトハ、條理ノ上ニ於テ如何ト考ヘマシテ、  
其營業廢止ニ依テ蒙ル損失ノ補償デアリマス、全ク賠償  
ト云フ意味デハナインデアリマス

○古市公威君 損失ノ勘定デスナ、ドウ云フ風ニナリマ  
ス

○政府委員(佐竹三吾君) ソレハ買收ノトキニ極メマシタ  
道ノ中ニモ、非常ニ利益ノアタ鐵道ト、利益ノ比較的少イ  
鐵道トアル、利益ノ少イノハ建設費ヲ標準トシテ補償シテ  
ヤリ、非常ニ利益ノアリマシタモノハ、其利益ヲ加味シテ補  
償ノ額ヲ極メル、大體買收價格ヲ極メル標準ニ依ルノテア  
リマスガ、買收ノトキハ其線路ナリ車輛ナリ、政府が取ルノ  
デアリマスガ、此場合ハ品物ヲ會社ガ持テ行クノデアリマ  
スカラ、其價額ハ建設費ナリ買收價格カラ引クノガ適當デ  
アリマシテ、其差引キマシテ出マシタ金額ヲ標準トシテ、補  
償額ヲ極メルノデアリマス

○古市公威君 サウスルト 損失ノ計算ノ元ハ、矢張リ買  
收ト同ジヤウニスル、サウシテ唯利益ノ有無ニ依テ取捨ス  
ルコトガアル、其取捨シ方デスナ

○政府委員(佐竹三吾君) ソレハ買收ノ規定ヲ準用シテ  
居リマスカラ、過去三年間ノ平均益金ノ割合ヲ標準トシテ、  
之ヲ最後ノ建設費ニ乘ジテ二十倍シタモノガ買收價格ニ  
ナル、大體ソレヲ標準トシテ、其金額ノ中カラ残タ財產ノ  
價格ヲ引キマシテ、補償額ヲ極メルノデアリマス

○古市公威君 ソレデ此修正意見ニ依ルト、是ハ際限ガ  
ナシ、利益ノ減少シタルモノハドノクラキナ、勘定ノ仕様ガナ  
イカラ、採用スルコトガ出來ナイコトニアリマスナ

○政府委員(佐竹三吾君) 其通リデゴザイマス、若シ僅ノ  
影響ヲ受ケマシタモノハ勿論除クトシマシテモ、其著シイ影  
響ヲ及ボシタト云フ程度ハ、之ヲ計算スルコトハ非常ニ困  
難デアリマスドウ云フ所カラ著シイ減少デアテ、ドウ云フ所  
カラ著シクナイト云フ程度ハ、殆ド極メ難イノデアリマスカラ  
此趣旨ヲ徹底スルニハ、多少デモ影響ガアレバソレダケ  
ヲ見テヤ、斯ウ云フコトハシナケレバナラヌノデアリマス、サ  
ウナリマスレバ、政府ノ負擔ト云フモノノ殆ド際限ガナイン  
デアリマスカラ、政府ハ唯會社ガ明示スル場合ニ於テノミ、  
相當ノ救濟ヲ與ヘルト云フコトニ致シタノデアリマス

○委員長(細川護立君) チヨット質問イタシマス、此三十  
五條ノ三十六條デスカ、是ハ實際岡山港井線トカ云フモ  
ノニ適用サレルト云フ御話ガゴザイマシタカ、衆議院デ……

○政府委員(佐竹三吾君) 之ニ該當スルト云フコトハ、  
斯ウ云フ意味デ、第一條ソレカラシテ第三條、第十一條、此  
三箇條ノ改正ヲ加ヘタノデアリマス、其第一條ハ、私設鐵道法ニ  
依テ出來マシタ地方鐵道會社ガ主トシテ此適用ヲ受ケル  
ソアルノデアリマス、其一ハ鐵道抵當法ハ、私設鐵道法ニ依  
リ免許ヲ受ケマシタ私設鐵道株式會社ニ付テノ規定デア  
リマシテ、今回私設鐵道法ノ廢止ニ依テ、地方鐵道法ニ  
依テ出來マシタ地方鐵道株式會社ガ主トシテ此適用ヲ受ケル  
ソ規定シタノデアリマスルガ、輕便鐵道法ニ依テ免許ヲ受  
ケマシタ輕便鐵道會社ガ、鐵道抵當法ヲ設定イタシマスル  
時ニハ、明治四十二年法律第二十八號ヲ準用イタシテ居  
ルノデアリマス、即チ軌道ノ抵當ニ關スル法律ニ依テ居リ  
マス、其コトハ輕便鐵道法ノ第七條ニ規定ガアリマス、明治  
四十二年法律第二十八號ハ輕便鐵道ノ抵當ニ之ヲ準用

始メテ居ル所、並ニ今年ノ豫算ニ追加ニナリマシタ一期線、  
及輕便鐵道ノ區間ニ、私設ノ輕便鐵道ガ色ニアルノデアリ  
ス、サウ云フ場合ニ此規定ヲ適用スルコトナルト考ヘマ  
ス、政府が鐵道ヲ敷設スル場合ニハ、出來ル限リハ其出來  
スル、若シ買收スルコトガ出來ナイ場合ハ、已ムヲ得ズ三十  
六條ノ規定ニ依テ補償ヲ與ヘル、斯ウ云フコトニ致シテ居  
リマス

○委員長(侯爵細川護立君) 是ハ甚ダ私見損テ居ルカ  
モ知レマセヌガ、四十三條デスナ、「本法中之ニ相當スル規  
定アル場合ニ於テハ本法ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做  
ス」ト云フ、此條項ノ意味ハドウ云フコトデゴザイマスカ  
スル、若シ買收スルコトガ出來ナイ場合ハ、已ムヲ得ズ三十  
六條ノ規定ニ依テ補償ヲ與ヘル、斯ウ云フコトニ致シテ居  
リマス

○政府委員(佐竹三吾君) 是ハ既ニ輕便鐵道ノ出願ヲ  
致シテ居ル書類ガアルノデアリマスガ、是等ノ書類ハ現行法  
ニ依テモ監督官廳ニ取テモ、無用ノ手數ヲ掛ケルコ  
トニナリマスカラ、本法デ認メマス、ソレハ即チ本法ノ規定  
ト同ジヤウニスル事柄ニ付テハ、其儘認メル、足リナイ分ニ付テ  
ハソレダケヲ追加セシムル、斯ウ云フコトニ致シマス

○委員長(侯爵細川護立君) 地方鐵道法案ニ付テ御質  
願者ニ取テモ監督官廳ニ取テモ、無用ノ手數ヲ掛ケルコ  
トニナリマスカラ、次ニハ鐵道抵當法中改正法  
律案ニ移リマス

○河村讓三郎君 極ク簡略ニ、改正ニナリマスル要點ダケ  
ヲ、摘ンデ御話ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(佐竹三吾君) 御手許ニ差上ゲテアリマス此  
説明書ノ二十九頁ニアリマス、改正ノ要點ガ大體ニ於テ四  
ツアルノデアリマス、其一ハ鐵道抵當法ハ、私設鐵道法ニ依  
リ免許ヲ受ケマシタ私設鐵道株式會社ニ付テノ規定デア  
リマシテ、今回私設鐵道法ノ廢止ニ依テ、地方鐵道法ニ  
依テ出來マシタ地方鐵道株式會社ガ主トシテ此適用ヲ受ケル  
ソ規定シタノデアリマスルガ、輕便鐵道法ニ依テ免許ヲ受  
ケマシタ輕便鐵道會社ガ、鐵道抵當法ヲ設定イタシマスル  
時ニハ、明治四十二年法律第二十八號ヲ準用イタシテ居  
ルノデアリマス、即チ軌道ノ抵當ニ關スル法律ニ依テ居リ  
マス、其コトハ輕便鐵道法ノ第七條ニ規定ガアリマス、明治  
四十二年法律第二十八號ハ輕便鐵道ノ抵當ニ之ヲ準用

スート、其法律ノ第一條ニ於キマシテ財團ノ範圍ヲ定メテ居ルノデアリマシテ、其範圍ト、鐵道抵當法ノ三條ノ財團ノ範圍ト、違テ居ルノデアリマシテ、從ツテ其違ニテ居リマス點ヲ改正イタシタノデアリマス、ソレガ第三條中「社宅」ノ下ニ是レ是レヲ加ヘル「保線」ノ下ニ「其他ノ修繕」ヲ加ヘル「鐵道用水」ヲ「用水」三改メ同條ニ左ノ一項ヲ加フ、即チ現在道用水ヲ「用水」三改メ同條ニ左ノ一項ヲ加フ、即チ現在ノ輕便鐵道會社ガ抵當權ノ目的トナツテ、鐵道財團ヲ組織イタシマスル場合ヲ、其儘認メル爲ニ改正ヲ加ヘタノデアリマス、ソレカラ十一條ノ規定ハ、之ヲ軌道ノ抵當ニ關スル法律ノ二條ニ項…電氣ヲ動力トシテ居ル鐵道ニ依リマシテ、電燈業トカ電力供給業ト云フコトヲヤッテ居ルノデアリマス此事業ハ一種ノ兼業デアリマスガ、兼業ハ當然鐵道財團ニハナラヌノデアリマスケレドモ、特ニ之ヲ財團ノ一部トスル意志ガアリマシタ時ニハ之ヲ認メル、斯ウ云フ規定ガ軌道ノ抵當ニ關スル法律ノ中ニアリマスカラ、ソレヲ三條ノ第二項ニ加ヘルノデアリマス、其追加イタシマスカ結果デ、第十一條ノ規定ニ影響ヲ及ボスノデアリマシテ、十一條ヲ改正イタシタノデアリマス、十一條ノ改正ニ付テハ又後ニ申上ダイト思フノデアリマス、其點ガ地方鐵道法ノ制定ニ伴フ改正ノ第一デアリマス、ソレカラ第二ハ鐵道抵當權ヲ實行イタシマシタ結果競賣三附セラレル、其競落人トナル者ノ資格ガ、私設鐵道法ニ於テハ株式會社ニ限テ居ルガ、之ヲ株式會社又ハ株式會社ノ發起人、斯ウ云フ規定ガ鐵道法ニアリマスノデアリマス、然ルニ地方鐵道法案ニ於キマシテハ、起業ノ主體ヲ廣ク認メタノデアリマスカラ、其意味ニ於テノ改正ヲ致スノガ第二ノ點ニアリマス、之ニ關スル改正ノ規定ハ、五十條五十四條、五十一條、六十一條、六十六條、シレニ二十六條ノ二ノ規定ヲ加ヘタノデアリマス、ソレハ株式會社ニ非サル地方鐵道業者ノ鐵道ノ抵當ニ關シテハ、勅令ノ定ムル所ニ依ル」之ハ前ニ申シマシタ、明治四十二年ノ軌道ノ抵當ニ關スル法律ノ第四條ニアルノデアリマス、即チ軌道條例ニ於キマシテモ、起業ノ主體ヲ株式會社ニ制限イタシテ居ラヌノデアリマス、其モノニ關スル抵當ニ關シテハ、勅令ノ定ムル所ニ依ルノデアリマスカラ、ソレヲ本法ニ入レル必要ガアリ許ト假免許トノ區別ヲ認メマセヌカラ、之ヲ改正スル必要ガアリマスルノト、ソレカラモウ一つハ、競落人ハ競買ノ結果落入ガ確定イタシマシタ時ニ、更ニ本免許ノ修正ヲシテ、本鐵道ヲ買受ケタノデアリマスガ、協議ニ依テ賣買ヲ致シマシタ場合ト、區別スル理由ガナイト認メマシテ「免許」ト云フコトノ代リニ、「許可」ト云フ文字ヲ用ヒルコトニ致シタ云ナリマス、是ニ依テ生ズル改正ノ點ガ、七十二條、六十

五條、六十七條、七十三條、七十四條、七十六條、七十七條ト、是ダケニ關係ガアルノデアリマス、ソレカラ第四ノ點ハ、競落人ガ私設鐵道株式會社デアリマシタ時ニハ、其競落期間ニ關スル免許ヲ受ケマスルト同時ニ、會社ノ定款ヲ變更スル必要ガアルノテ、其定款變更ノ手續ト、ソレカラシテ其期間ノ免許申請ノ手續ト、之ヲ同一ノ手續ニ依ラシムルト云フコトニナシテ居ルノデアリマス、サウシテ私設鐵道法ニ於キマシテハ、定款變更ガ認可デアリマス、然ルニ地方鐵道法ニ依テハ、定款變更ハ届出事項ニナシテ居リマシテ、認可事項ニハナシテ居ラヌノデアリマスカラ、七十五條ヲ設ケル必要ガナクナシテ、之ヲ削除イタシタノデアリマス、此四ツノ點ガ改正ノ要點デアリマス

○委員長(伯爵細川護立君) 六十七條ハドウシタノデス  
カ、要點ノ…

○政府委員(佐竹三吾君) 六十七條ニハ「本免許狀」ト云フ文字ガアリマシテ、是ハ「本免許」ヲ「許可」ト改メマシタ結果改正ヲ要スルノデアリマス

○委員長(伯爵細川護立君) ソレハ今ノ要點ノ中ニハ這入テ居リマス

○古市公威君 此二十六條ノ二ト云フノハ、是ハ此或規定ノ箇條ニ即チ御變ヘニナシモノデ、一十七條ミタヤウナモノデアリマスナ

○政府委員(佐竹三吾君) 二十七條ト同ジ 意味デアリマスガ、二十七條ト致シマスト、二十七條以下ノ條文ヲ皆順次繰下ゲナケレバナリマセヌカラ、ソレヲ避ケマシタ

○古市公威君 二十七條ノ同條ノ意味デハ勿論ナイ、ソレデ伺ヒマスノハ、斯ウ云フ場合ハ宜イデスガネ、是ハ是條デハ總テ會社ノ規定ニナシテ居ル、アトハ規定ガ皆會社デモ法人デモ適用スルヤウニナシテ居ルカラ、此處ニ入レタノデスカナ

○政府委員(佐竹三吾君) 二十六條ノ次ニ入レマシタノハ、二十六條マデハ第一章總則デアリマシテ、總ア共通シタ規定テアリマスカラ、ソレデ總テノ一番終ヒニ入レマシタ、詰リ鐵道法ト別ノ規定ヲ設ケルカ、或ハ第一條ノ二項ニスルカ、イロイロ位置ニ付テハ御議論モアルト思ヒマスガ、總則ノ末文ニ置クト云フコトガ適當ト考ヘテ、此處ニ入レタノデアリマス

ザル規定ダケニ致シマシテ、鐵道抵當法ノ實質ニ付テハ手  
マスルト、第五條「抵當權ノ設定又ハ變更ハ總株金四分  
ノ一以上ノ拂込アリタル後定款變更ト同一方法ノ決議ヲ  
經主務官廳ノ認可ヲ受クルニ因リテ其ノ效力ヲ生ヌ」ト云  
フ規定ガアリマスガ、公共團體ノ地方鐵道、個人又ハ組合  
若クハ合名、合資會社、株式合資會社ナドノ地方鐵道  
ニ付テハ、此株金四分ノ一以上ノ拂込ノ規定ハ當缺リマセ  
ヌカラ、別ノ規定ヲ設ケナケレバナラズノデアリマス、サウ云  
フコトガ大變面倒デアリマスカラ、面倒ト言シテハ語弊ガアリ  
マスガ、アリマスカラ避ケタノデアリマス、勿論是ハ現行法ガ、  
同ジク勅令ニ委任イタシテアリマスルカラ、其趣旨ヲ踏襲イ  
タシタノデアリマス

○古市公威君　面倒ダ、私ハ露骨ニ、面倒ガ本當ダト思  
ヒマスガ、五條ミタヤウナモノガアル……何條何條ヲ除イテ  
其他ハ準用スルト云フコトガ、單純ニシテ宜イヤウニ思フガ、  
ナカニ一面倒ト云フコトハ言ヘナカタノデスカラ、サウスルト  
其方が鄭寧ニナシテ宜イヤウニ思フガ……

○政府委員（佐竹三吾君）　實ハ軌道ノ抵當ニ關スル法  
律ニ、勅令ニ委任シテ居リマスケレドモ、此勅令がマダ決マ  
テ居ラナイノデス、アッテモ實際ニ運用ガ出來ナイト云フ狀  
態ニアルノデス、之ヲ決メルニ付テハ、獨リ會社、個人ノミナ  
ラズ、公共團體ノ鐵道ノ場合ニハ、ドウスルカト云フヤウナ  
規定モ、必要ガアルノデアリマスルカラ、旁々現行ノ趣意ニ依  
リマシタノデアリマス

○古市公威君　チヨット小サナコトデアリマスガ「鐵道用  
水ト云フノハ、ナゼ「鐵道」ヲ除イタノデアリマスカ  
○政府委員（佐竹三吾君）　是ハ軌道ノ抵當ニ關スル法  
律ガ矢張リ「用水」トナッテ居リマス、是ハナゼカト申シマスル  
ト水力電氣ニ依シテ營業イタシテ居リマスル場合ニ、其水路  
ハ鐵道ノ財產トシテハ、最モ重要ナモノダラウト思ヒマス、ソ  
レガ「鐵道用」水ト云フコトニナリマスト、其中ニ這入ルカド  
ウカ多少疑ヒガアリマスカラ、ソレデ之ヲ廣ク「用水」ト致シ  
タノデアリマス

○委員長（侯爵細川護立君）　鐵道抵當法中改正法律  
案ニ付テ、御質問ハゴザイマセヌカ——御質問無イト認メマ  
ス、次ハ鐵道船舶輕便法中改正法律案、是ニ付テ御質問  
ハゴザイマセヌカ——御質問無イト認メマス、次ハ鐵道營業  
法中改正法律案、如何デスク、説明ヲ求メマセウカ、大體  
此間モアリマシタケレドモ、尙ホ一應……チヨット説明シテ戴  
キマス

○政府委員(中川正左君)　營業法ノ中デ、地方鐵道ノ設備ニ伴フ部分ハ、今朝ホド既ニ御話ガアリマシタカラ、其以外ノ今回新ニ地方鐵道ニ伴ハズシテ改正シマス、二箇條ノ部分ニ付テ御説明ヲ致シマス、此現在ノ營業法ノ第三條ノ中ニハ、運賃及運送取扱條件ノ公告ノ事ニ付テノ規定ガアリマス、此規定ガ不備デゴザイマスカラ、今回ハ此點ヲ改メマシテ、總テ運賃ナリ、運送條件ハ、一旦公告シナケレバ實行ハ出來ナイヤウニシタノデアリマス、其理由ハ運賃ノ祕密割引ヲスルト云フヤウナコトヲ突然イタシマスト、公衆ハ大變ナ迷惑ヲ來タシマスカラ、現在ハ一週間ノ公告期間ト云フコトニナシテ居ルノヲ、更ニ延長シマシテ、一箇月以上公告シナケレバナラナイコトニ致シマシタノデゴザイマスソレデイカト云フ疑問モアリマスガ、總テ割引ヲスル場合ニハ、結局公益ニ基イテ割引ヲスルヤウナコトニ相成リマスノデ、近頃仙臺ニ大火ガアリマシテ、國有鐵道ハ其大火ニ罹ダ者ニ對シテ送ル材木ニ付テ、現在五割引ヲシテ居リマシダガ、サウ云フ風ニ卽座ニ實行スル必要ノアルモノアリマスカラ、是等ハ唯公告サヘスレバ實行スルコトノ出來ルヤウナコトデ、別二期間ヲ定メナインデアリマス、又十三條ノ三ト云フノハ、今回新タニ規定ヲ致シマシタノデゴザイマシテ、是ハ今マデ全ク無カタノデアリマスガ、昨年來段々米ノ輸送ニ付テ、特ニ其必要ヲ感ジマシタノデ、此規定ヲ設ケタ譯デゴザイマス、即チ荷物ノ寄託上ニ於キマシテ、貨物ノ引渡ヲ早ク實行シタトイト云フ趣旨ヲ以チマシテ、從來ハマア此荷物ガ著キマスト、鐵道ノ方カラ直ギニ荷主ノ方ニ通知ヲ致シマシテ、其引渡ノ準備ヲスルコトニナシテ居リマスガ、荷主ガ應ジナイ、或ハ雨ガ降ッテ取りニ來ナイ、倉ガ闊ヘテ困ルト云フヤウナコトヲ言ダテ、一向引取ニ來ナイ、或ハ引渡ニ應ジナイト云フ場合ニハ、矢張リ其荷物ハ其儘貨車ニ置イテ、保管料ヲ取ルヨリ外途ハナカタノデアリマスガ、荷主ノ費用ヲ以テ直チニ、鐵道ノシテ居ル倉庫業者ニソレヲ引渡スコトヲ規定シタノデアリマス、又最後ノ第五項ニアリマス規定ハ、是ハ運送ノ趣意トハ違ヒマシテ、事實上停車場ニ物ヲ置イテアシテアリマス、ソレカラ其倉庫證券ヲ發行シタ場合ニハ、其證券ノ交付デ以テ、貨物ノ引渡ニ代用スルト云フコトヲ規定シタノデアリマス、又最後ノ第五項ニアリマス規定ハ、是ハ運取引ヲシナイヤウナ場合ニ行ハレル、制裁ノ規定ヲ設ケタ次第デゴザイマス

スガ、大體ニ於テ原案ノ考ハサウデスガ、今御話ノ例ヘバ仙臺ノ火事ニ付テ木材ノ運賃ヲ割引シテ送ル、ソレハ大變宜イ事ダガ、急ヲ要スル事デアルカラ公告ヲスルコトガ出来ナイ、マア斯ウ云フ結果ヲ生ジマセヌカ、衆議院デモ、出来ルナラバ或期間ヲ設ケタラ宜カラウト云フ話ガア、タヤウデアリマスガ、今ノヤウナ話デアルト、材木屋ガ不當利得ヲスル者ガアル、仙臺市或ハ仙臺ノ官廳デハソレヲ知ラナイト或材木ヲ或高イ値段デ買フ、停車場ニ來テ見ルト告市ハアル、五割引デ送ル約束シテモ、材木屋ハ五割引ヲシナインデ賣シテ儲ケル、一向肝腎ノ救ツテヤラウト云フ者ハ、少シモ恩澤ヲ蒙ラナイヤウナコトガ生ジハシナイカ、ソンナ事ヲ衆議院デモ言ツテ居ル、是ニモ相當ノ期間ヲ置イタラ宜カラウト云フコトガアタガ、之ヲドウカシ此間モ仙臺中何所モ材木ガ無イノデ、材木屋ガ是デ以テ非常ニ儲ケタ譯デアル、不當利得ト言フコトハハ惡イカモ知レヌガ、ソレヲ避ケル手段ハアリスマイカ、ドウデスカ

○政府委員(中川正左君) サウ云フ事柄ガ多少アルカモ知レマセヌト思ヒマスカラ、今回ノ仙臺ノ場合ニ於キマシテハ、仙臺ノ市廳宛ニ送ル材木デアリマシテ、仙臺市ノ要求ニ基イテ割引ヲシテ居ルノアリマス、實際ハ御話ノヤウニ、商人ハ動モスルトサウ云フ事ニ附込ンデ、自分が儲ケテ、荷主ノ方ハ利益ヲ得ナイト云フコトデ、運送屋ノ手ニ掛チテ送ラセルモノニ付テハ、サウ云フ事ガアラウト思ヒマスガ、ソレハ今デハ全體ニ運賃ヲ下ゲル場合ニハ、公告スルト云フ事スラ致サナカタノアリマスカラ、先づ第一番ニ公告ヲスルト云フコトヲ實行シマシテ、サウシテ誰モ停車場ニサヘ來レバ、分ルヤウニスルト云フコトニ致シタイト云フ考デアリマス

○古市公威君 無論ソレハ結構デ、大層宜ウゴザイマス

○委員長(侯爵細川護立君) 御質問ハゴザイマセヌカシテ御質問ハナイト認メマシテ、次ハ輕便鐵道補助法中改正法律案、是ハ御質問ゴザイマセヌカシテ御質問ナイト認メマシテ、次ハ軌道條例中改正法律案、之ニ付テ御質問ヲ……

○政府委員(堀田貢君) 本法案ハ頗ル簡單ナ法案デアリマスルノデ、詳シク説明申上ゲルマデモナイコト、存ジマスルガ、極ク大體本法案ヲ提出シタ理由ダケヲ申上ゲマス、曩キニ衆議院ニ於キマシテ修正セラレ、唯今御審議中ノ地方鐵道法案第三十六條ニ於キマシテ、政府ガ地方鐵道ニ接近シ、又ハ併行シテ鐵道ヲ敷設スル場合ニ、地方鐵道ノ蒙ムル損害ヲ補償スル規定ヲ設ケタノアリマス、是ト同様ナル規定ガ、此軌道ニ接近シ又ハ併行シテ敷設スル場合ニモ、必要ガアラウト云フノデ、此三十六條ヲ軌道ニ準用スルト云フ規定ヲ、茲ニモ規定イタシタイト思フノアリマス、又軌

道條例第四條ノ規定ハ、此地方鐵道法ノ制定ニ伴ウテ、是亦改正スル必要アリト認メ、本案ヲ提出シタ次第デアリマス、ソレデ此軌道條例ノ第四條ニ、私設鐵道法等ヲ準用シテアリマス、ソレデアリマスカラ、地方鐵道會社ニモ今度同様ナル規定ガ設ケラレタノデアリマスルガ、詰リ會社ハ、株金全額拂込前ト雖、監督官廳ノ認可ヲ受ケ、線路ノ延長又ハ改良ノ費用ニ充テル爲ニ、其資本ヲ増加スルコトガ出来ルト云フ趣意ノ規定ハ、矢張リ此軌道條例ニモ設ケル必要ガアリト認メマシテ、此改正案ヲ提出イタシタ次第デアリマスドウゾ御協贊アラムコトヲ希望イタシマス

○古市公威君 方々デ軌道條例ノ改正ノ意見ガアッヤウデアリマスルガ、其時ニハ道路ノ改正ガ出來テカラヤル積リダ、所ガ今日道路ハ通過ニナシ、スレバ其軌道條例ノ改正ヲ此ノ議會ニ御提出ニナルヤウナ積リデアリマスカ

○政府委員(堀田貢君) 唯今ト同様ナル御尋ネハ、衆議院ニ於テモアリ、又貴族院ノ本會議ニ於テモアリマシタコトデアリマスルガ、大體本會ニ於テ内務大臣ヨリ申上げタ通り、道路法ガ確定セヌト、此軌道條例ノ方ノ改正ガ出來惡イノデ、今年ハ提案スルニ至ラナカタ次第デアリマス、尤モ始ノハ提案スル考ヲ以チマシテ、各地方長官ノ意見等モ徵シ、未定稿デアリマスルガ、案ヲ得タノデアリマスルガ、今之ヲ提案スベキヤ否ヤト云フ段ニナリマスルト、ドウモ道路法ガ確定セヌ中ハ、從テ道路法ニ附屬シテ致スベキ命令令等ノ案モ決マラヌ中ハ、軌道條例ヲドウ云フ風ニ規定スベキカト云フ微細ナ點ニナルト云フト、甚ダ困ルカラ、先ヅ本年ノ議會ニ於テ道路法ガ確定イタシマシタナラバ、來年ノ議會ニ於テハ是非トモ此軌道條例ノ改正案ヲ出シテ、貴衆兩院ニ於ケル御希望ニ添フヤウニ致シタイト云フ積リデアリマス

○委員長(侯爵細川護立君) 御質問ゴザイマセヌカ、ソレデハ質問ナイト認メマス、ソレデハ御説リ致シマスガ、先程可決サレマシタ仙北鐵道ノ買收法律案ヲ除キマシテ、全部一括シテ此際御意見ダレバ、承リタイノデアリマス

○古市公威君 是ハ仔細ニ研究シタナラバ、多少論議スベキ點モナイコトハナイカモ知レマセヌガ、兎モ角モ大體ニ於テ、現在ノ現行ノ規定ヲ先づ整理シタト云フヤウナモノニアリマスカラ、大體如何ナル法律デモ、出テ見ルト又直シタニコトガ出來ルノガ普通デアリマスルデ、先づ此場合ニ於テハ、全部是デ置イテ通過スルヤウニシタ方ガ宜カラウト考ヘマス、私ハ全體賛成デゴザイマス

○河村讓三郎君 私モ全體此儘同意ヲ致シマス考デアリマスルガ、少シ意見ヲ附加ヘテ置キタイト思フノデアリマス、ソレハ地方鐵道法案ノ第八條、第十條、第十八條、第十九條、第二十

九條、第二十六條等ニ付キマシテ、段々質問應答ヲ重ねマシタノデアリマス、其結果大ニ理解スルコトヲ得マシタ點モ少カラスノデアリマスルガ、尙ホ一ツノ點ニ付キマシテハ、今尙ホ私ハ疑問ヲ懷イテ居リマスノデアリマス、其一ツノ點ハ、鐵道ノ讓渡ト云フコトニ付キマシテ、監督官廳ノ許可ヲ受ケネバナラスト云フ點ガ、聊カ不明デアルヤウニ考ヘルノデアリマス、鐵道ノ貸借ノコトニ付キマシテハ、第二十六條ニ明カニ規定シテアリマスルガ、鐵道ノ貸借ヲ爲スコトヲ得ズト云フコトガ、明カニ規定シテアリマスルガ、鐵道ノ讓渡ト云フコトニ付キマシテハ、明カナル讓定ヲ發見イタシマセヌノデアリマス、鐵道ノ附屬物件ト云フモノニ付キマシテハ、第八條ニ二項ニ明カニ「監督官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ貸渡又ハ讓渡スルコトヲ得ス」ト云フコトガアルノデアリマス、是ハ附屬物件ニ關スル規定デアリマシテ、鐵道其物ノ讓渡ト云フコトハ、此中ニハ規定サレテ居ラヌヤウデアリマス、ソコデ假リニ質問ヲ致シマシタノデアリマスルガ、此十八條ニ免許ニ屬スル權利義務ニ屬スル讓渡ノ規定ガアルノデアリマス、此規定ガ此鐵道ノ讓渡ニモ適用セラル規定デアルカ否ヤト云フコトニ付キマシテハ、度々質問應答ヲ重ねマシタケレドモ、ドウモ十分ニ私ハ理解ヲ致シ兼ネテ居ルノデアリマス、其主モナル理由ハ、第十九條ノ第二項ト云フモノハ、政府ノ御説明ニ依ルガ、第十九條ノ第二項ト云フモノハ、政府ノ御説明ニ依リマスト云フト、是ハ免許權ダケノコトデアリテ、鐵道ト云フモノハ此項ニハ入ラヌノデアリマス、ソレハ相續法ノ規定ニ依リ、當然相續人ハ相續スルモノニアルト云フ説明デアリマス、サウ致シマスルト云フモノ此一箇條ノ對照上、鐵道ノ讓渡ノコトガ第十八條ノ中ニ規定サレテアルト云フ説明ハ甚ダ疑ハシイヤウニ思フノデアリマス、併ナガラ敢テ修正等ノ意見ヲ提出イタシマセヌノハ、今日既ニ會期モ切迫イタシテ居リマスシ、僅ニ此一二點ノ修正ノ爲メニ、本案ノ通過ヲ妨グルヤウナコトニナリマシテモ、大局ノ上カラ考ヘマシテ却テ不利益デアラウト考ヘマスルカラ、修正意見ヲ提出ハ致シマセヌガ、政府ニ對シテ實際此問題ヲ生ジマシタ場合ニハ、適當ナル解釋ヲ與ヘラレテ、立法上差支ナイヤウニ御處理ニナランコトヲ希望シマスノデアリマス、今一ツノ點ハ・チヨット元トヘ戻リマスルガ、若シ私ノ希望ノ如ク修正イタシマスレバ、此第二十六條ノ中ニ「鐵道ノ貸借」トアリマスル其上ニ、「鐵道ノ讓渡若ハ貸借」トスウ入レ、バソレデ宜シノデアリマス、「鐵道ノ讓渡若ハ貸借又ハ營業云々」トスウ致シマスレバ、鐵道ノ讓渡ノコトモ、二十六條ニ依テ支配セラレ、免許權ノ讓渡ノコトハ十八條デ支配セラル、ト云フコトデ、極メテ明カニナルコトデアラウト思フノデ

アリマス、併シ是ハ前申上げマシタ通り、敢テ意見ヲ提出スルノデアリマセヌ、ソレカラ第一ノ點ハ、第十九條ノ第二項デアリマスルガ、是ハ私ノ意見ヲ露骨ニ申上げマスルト云フト、「權利義務ヲ承繼ス」ト云フコトニ留メマシテ、「ルコトヲ得」ト云フコトヲ取リタイ、何處ガ違フカト申シマスルト、サウナリマスレバ死亡ノ場合ニ於キマシテハ、相續人ハ免許權ヲ承繼スルモノトナル、鐵道其他附屬物モ、無論是ハ相續人ハ相續法ニ依テ、當然承繼スルノデアリマス、デ同時ニ免許權ト云フモノモ承繼スルモノト致シマシテ、サウシテ若シ營業繼續ヲ欲セザルトキハ、同條ノ第四號ニカヽル營業廢止ヲ受ケレバソレデ宜シイ、原案ノ如クデアリマスルト云フト、免許權ヲ承繼スルト否トハ、相續人ノ自由デアリマスルカラ、或ハ免許權ヲ承繼セヌスト云フカモ知レナイ、左様ニ致シマスルト、鐵道其他ノ物件ダケハ承繼イタシマシテ、サウシテ免許權ハナイ、デ無論其者ハ營業スルコトハ出來マヌ、サウシテ此權利ノ主體ヲ失ウタ免許權ト云フモノハドウナル、ソレハ十九條ノ一號ニモ四號ニモ當ラナイノデアリマス、マア當然消エルト解説スルノ外ハアリマセヌケレドモ、ソレハ法文ノ解説トシテ正確ナルモノデハナイト考ヘマス、此二點ハ私が段々説明ヲ伺ヒマシタガ、尙ホ疑ウテ之ニ對シテ解スル能ハザル點デアリマスルケレドモ、是モデス、實行ニ付テハ當局ノ穩健ナル處理ニ依テ、何等差支ガナイコトニナルデアラウト考ヘマスルカラ、其希望ヲ此處ニ申述べマシテ、別段意見ヲ提出イタシマセヌ、此際ハデス、全部同意ヲ表シテ置キマスルガ、本員ト致シマシテモ穩健ナル處置トスヤウニ考ヘマス、一言申シテ置キマス

○男爵福原俊九君 本員ハ矢張り原案ニ賛成スルモノデアリマスルガ、唯私ハ疑惑ノ了解ヲ以テ賛成スル譯デ、度々此委員會ニ於テ當局ニ質問致シマシタ、同ジ委員カラモ質問サレタ、尙ホ地方鐵道ト軌條ノ程度モ、其邊ハハッキリ致シマセヌ、併ナガラ今内務當局ノ御説明ニモ、所謂道路法ガ決シテカラ、更ニ之ヲ出スト云フコトデアリマスカラ、私ハ此次ノ議會ニ於テ軌道條例ナルモノガ出テ、サウシテ地方鐵道ト軌道條例トハ、共ニ了解シ得ラレルト思ヒマスカラ、此法案全體賛成ヲ致シマス

ノ規定ヲ致シタラ有リサウナモノデアラウト思ヒマス、是モ極メテ大事ナコトデアラウト思ヒマス、實行ニ於テ、適當ノ場合ニヤル事ノ希望ヲ申上げテ置キマス

○委員長(侯爵細川護立君) 他ニ御意見アリマセヌカザイマセヌカ

夫デハ地方鐵道法案以下六案、東ネテ採決シテ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(侯爵細川護立君) 御異議ナイト認メマス、散部原案ニ御異存アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(侯爵細川護立君) 御異議ナイト認メマス、散會致シマス

出席者左ノ如シ

午後三時三分散會

出席者左ノ如シ

午後三時三分散會

政府委員

鐵道院理事	中川	正左君
鐵道院理事	佐竹	三吾君
內務省土木局長	堀田	貢君

子爵豊岡	圭資君
子爵伊東	祐弘君
河村	謙次郎君
小松	俊九君
男爵福原	恆徳君
男爵調所	傳兵衛君
佐藤	